

**「（仮称）丸森町復旧・復興計画」策定に向けた
意向調査結果**

報告書

令和2年4月

丸 森 町

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査方法と調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査票の回収状況	1
5. ご利用にあたっての注意点	1
6. 意向調査集計結果	2
問1. 台風第19号の被害を受ける前までの、あなた自身ならびに世帯の状況 についてお聞きします	3
ア) 性別	3
イ) 年齢	4
ウ) 世帯構成	5
エ-①) 世帯の人数	6
エ-②) 65歳以上の人数	7
エ-④) 障がいのある方の人数	8
エ-③) 乳幼児(小学校就学前)の人数	9
オ) 職業	10
問2. このたびの台風に伴う避難についてお聞きします	11
問2-1. あなたはどのように対応しましたか	12
【避難の対応】	12
【事前に避難を開始した日】	13
【事前に避難を開始した時間】	14
【危険を感じてから避難した日】	15
【危険を感じてから避難した時間】	16
問2-2. 避難を判断した情報の入手先	17
問2-3. どこにどうやって避難しましたか	18
【避難先】	18
【親類や知人宅の場所】	19
【避難時の交通手段】	20
問2-4. 避難に関して課題と感じたことはどれですか	21
問3. お住まいの状況についてお聞きします	22
問3-1. 台風以前のお住まいの地区はどこですか	23
問3-2. 現在のお住まいの状況を教えてください	24
【現在の住まいの状況】	24
【台風以後別の住まいの住居形態】	25
【被害の種類】	26

【浸水の状況】	27
【床上浸水の水深】	28
【被害の規模】	29
問3-4. これからの住まいについて、 あなたの考えに最も近いものはどれですか	30
問4. お住まいの再建について、 現時点であなたの考えに近いものをお答え下さい	31
問4-1. お住まいの再建をどのように進めたいと 考えていますか	32
問4-2. いつまでにお住まいを再建したいとお考えですか	33
問4-3. お住まいの再建場所を決めるうえで、 重視する条件は何ですか	34
問4-4. これからお住まいを再建するにあたり、 課題や不安に感じていることはありますか	35
問5. あなたが復旧・復興において重要と考えている取り組みについて お聞きします	36
(1) 安らぎのある暮らしの再建	37
(2) 災害に強く魅力あふれるまちの創造	39
(3) 活気あふれる産業・なりわいの再建	41
問6. 今回の災害からの復旧・復興について、あなたが期待すること、 望むことなど	43
7. 参考資料	44
◆ 意向調査票	45

1. 調査の目的

令和元年10月12日の台風19号による甚大な被害から復興を推進するにあたり、町民の意向を把握し、復興事業推進における基礎資料の作成を目的とします。

2. 調査方法と調査対象

調査方法	・ 意向調査票を郵送により配布、回収
調査対象	・ 住民基本台帳に基づく町の全世帯（4,817世帯） ① 世帯代表 ② 世帯員（16歳以上の各家庭2名まで）

3. 調査期間

令和2年2月4日（火）から令和2年2月21日（金）まで

4. 調査票の回収状況

単位：票、%

	配布票	回収票	回収率	備考
対象世帯数 a	4,817			
世帯代表 b		1,978	41.1%	b/a
世帯員		2,131		
計		4,109		

※集計対象は、2月末到着分まで

5. 注意点

- ① 標題の<SA>は、単一回答を意味します。
- ② 標題の<MA>は、複数回答を意味します。
- ③ グラフに付記の「n」は、サンプル数を表します。
(例：n = 100は、サンプル数が100件あることを意味します。)
- ④ 集計表で、該当する票数（回答）がないものは、0（ゼロ）表示せず空欄にしています。
- ⑤ 複数回答の設問において、分母は回答数ではなく回答者数として回答割合を算出しています。そのため、割合の合計が100%を超えています。

6. 意向調査集計結果

●調査票（世帯代表）

問1. 台風第19号（以下「台風」といいます。）の被害を受ける前までの、あなた自身ならびに世帯の状況についてお聞きします。

ア) 性別	1. 男性	2. 女性						
イ) 年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代以上
ウ) 世帯構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子どもの世帯 4. 三世代(親, 子, 孫)同居世帯 5. その他(具体的に: _____)							
エ) 世帯の人数 (あなたを含めた人数)	全員で()人 そのうち、65歳以上の人数()人 乳幼児(小学校就学前)の人数()人 障がいのある方の人数()人							
オ) あなたの職業	1. 正規職員・従業員 2. 契約・派遣社員 3. パート・アルバイト 4. 自営業主(農林業含む) 5. 会社役員・経営者 6. 無職(学生含む) 7. その他()							

●調査票（世帯員）

問1 あなた自身についてお聞きします。

ア) 性別	1. 男性	2. 女性						
イ) 年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代以上

問1. 台風第19号の被害を受ける前までの、あなた自身ならびに世帯の状況についてお聞きします。〈SA〉

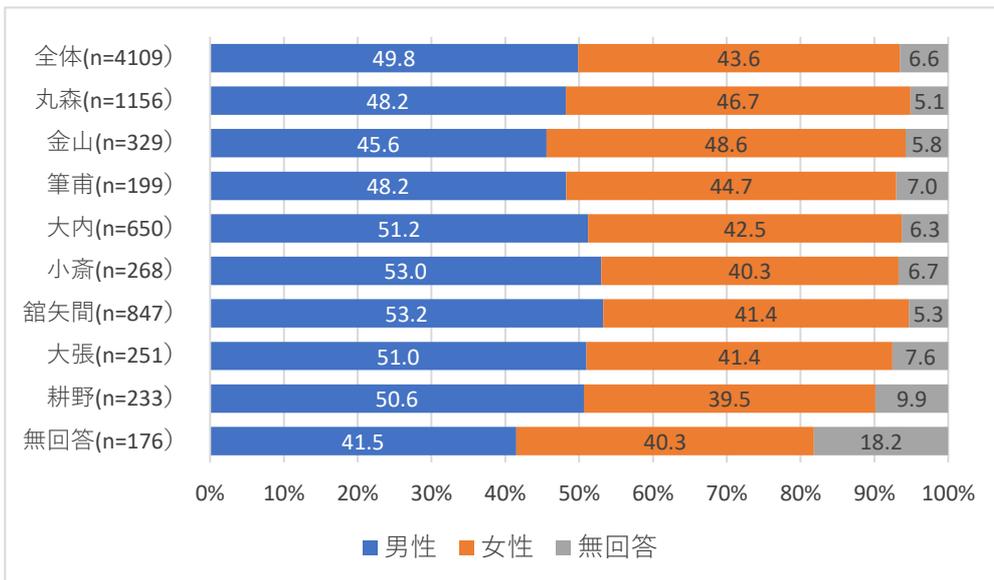
ア)性別

- ・ 全体にみる男女比は、男性が2,048人（49.8%）、女性が1,791人（43.6%）となっています。
- ・ 地区別に見ると、丸森、金山、筆甫の3地区では、男女比に大きな開きはありませんが、これ以外の地区は男性が女性を大きく上回っています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段：サンプル数、下段：%

	合計	男性	女性	無回答
全体	4,109	2,048	1,791	270
	100.0	49.8	43.6	6.6
丸森	1,156	557	540	59
	100.0	48.2	46.7	5.1
金山	329	150	160	19
	100.0	45.6	48.6	5.8
筆甫	199	96	89	14
	100.0	48.2	44.7	7.0
大内	650	333	276	41
	100.0	51.2	42.5	6.3
小斎	268	142	108	18
	100.0	53.0	40.3	6.7
館矢間	847	451	351	45
	100.0	53.2	41.4	5.3
大張	251	128	104	19
	100.0	51.0	41.4	7.6
耕野	233	118	92	23
	100.0	50.6	39.5	9.9
無回答	176	73	71	32
	100.0	41.5	40.3	18.2



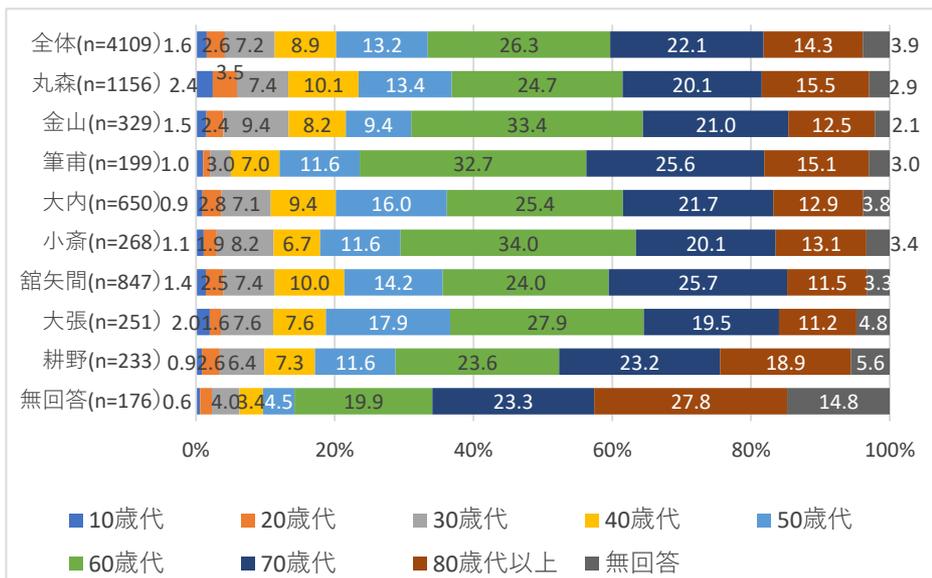
イ) 年齢<SA>

・ 全体に見る年代は、60歳代が最も多く1,079人（26.3%）、次いで70歳代が909人（22.1%）、80歳代以上が587人（14.3%）、50歳代が544人（13.2%）となっており、60歳代以上が全体の6割以上を占めています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	無回答
全体	4,109	64	107	295	364	544	1,079	909	587	160
	100.0	1.6	2.6	7.2	8.9	13.2	26.3	22.1	14.3	3.9
丸森	1,156	28	40	86	117	155	285	232	179	34
	100.0	2.4	3.5	7.4	10.1	13.4	24.7	20.1	15.5	2.9
金山	329	5	8	31	27	31	110	69	41	7
	100.0	1.5	2.4	9.4	8.2	9.4	33.4	21.0	12.5	2.1
筆甫	199	2	2	6	14	23	65	51	30	6
	100.0	1.0	1.0	3.0	7.0	11.6	32.7	25.6	15.1	3.0
大内	650	6	18	46	61	104	165	141	84	25
	100.0	0.9	2.8	7.1	9.4	16.0	25.4	21.7	12.9	3.8
小斎	268	3	5	22	18	31	91	54	35	9
	100.0	1.1	1.9	8.2	6.7	11.6	34.0	20.1	13.1	3.4
館矢間	847	12	21	63	85	120	203	218	97	28
	100.0	1.4	2.5	7.4	10.0	14.2	24.0	25.7	11.5	3.3
大張	251	5	4	19	19	45	70	49	28	12
	100.0	2.0	1.6	7.6	7.6	17.9	27.9	19.5	11.2	4.8
耕野	233	2	6	15	17	27	55	54	44	13
	100.0	0.9	2.6	6.4	7.3	11.6	23.6	23.2	18.9	5.6
無回答	176	1	3	7	6	8	35	41	49	26
	100.0	0.6	1.7	4.0	3.4	4.5	19.9	23.3	27.8	14.8



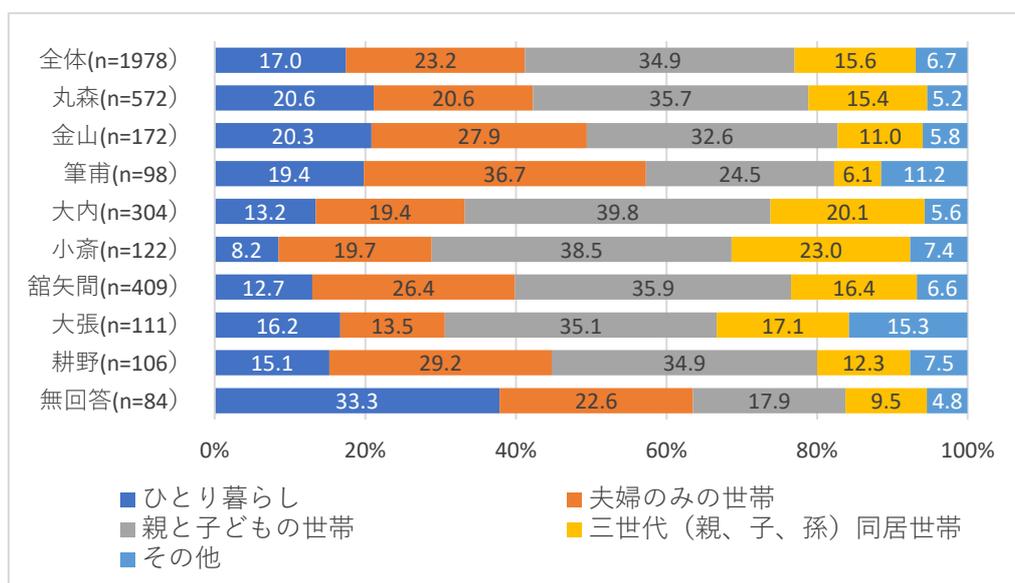
ウ)世帯構成<SA>

- 世帯構成は、全体で見ると「親と子どもの世帯」が最も多く690世帯（34.9%）、次いで「夫婦のみの世帯」が458世帯（23.2%）、「ひとり暮らし」が336世帯（17.0%）、「三世代同居世帯」が309世帯（15.6%）となっています。

【世帯代表】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	ひとり暮らし	夫婦のみの世帯	親と子どもの世帯	三世代同居世帯(親、子、孫)	その他	無回答
全体	1,978	336	458	690	309	133	52
	100.0	17.0	23.2	34.9	15.6	6.7	2.6
丸森	572	118	118	204	88	30	14
	100.0	20.6	20.6	35.7	15.4	5.2	2.4
金山	172	35	48	56	19	10	4
	100.0	20.3	27.9	32.6	11.0	5.8	2.3
筆甫	98	19	36	24	6	11	2
	100.0	19.4	36.7	24.5	6.1	11.2	2.0
大内	304	40	59	121	61	17	6
	100.0	13.2	19.4	39.8	20.1	5.6	2.0
小斎	122	10	24	47	28	9	4
	100.0	8.2	19.7	38.5	23.0	7.4	3.3
館矢間	409	52	108	147	67	27	8
	100.0	12.7	26.4	35.9	16.4	6.6	2.0
大張	111	18	15	39	19	17	3
	100.0	16.2	13.5	35.1	17.1	15.3	2.7
耕野	106	16	31	37	13	8	1
	100.0	15.1	29.2	34.9	12.3	7.5	0.9
無回答	84	28	19	15	8	4	10
	100.0	33.3	22.6	17.9	9.5	4.8	11.9



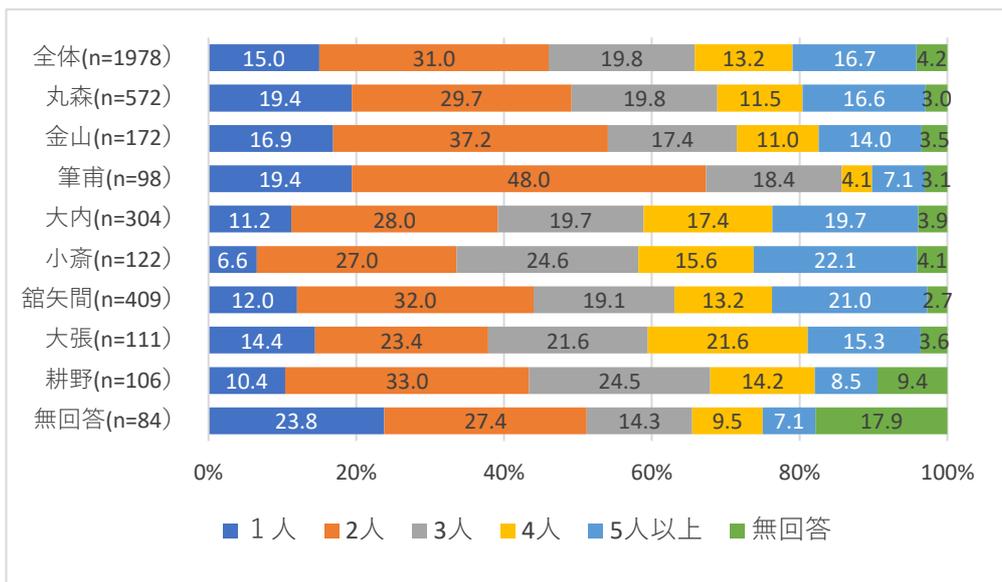
エー①)世帯の人数(世帯主含む)<SA>

- ・ 世帯の人数は、全体で見ると「2人」が最も多く614世帯（31.0%）、次いで「3人」が391世帯（19.8%）、「5人以上」が331世帯（16.7%）となっています。
- ・ 地区別に見ると、大内、小斎、館矢間、耕野の4地区は、他地区に比べて「1人」が少なく、「4人」や「5人以上」がやや多い傾向があります。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	1,978	297	614	391	262	331	83
	100.0	15.0	31.0	19.8	13.2	16.7	4.2
丸森	572	111	170	113	66	95	17
	100.0	19.4	29.7	19.8	11.5	16.6	3.0
金山	172	29	64	30	19	24	6
	100.0	16.9	37.2	17.4	11.0	14.0	3.5
筆甫	98	19	47	18	4	7	3
	100.0	19.4	48.0	18.4	4.1	7.1	3.1
大内	304	34	85	60	53	60	12
	100.0	11.2	28.0	19.7	17.4	19.7	3.9
小斎	122	8	33	30	19	27	5
	100.0	6.6	27.0	24.6	15.6	22.1	4.1
館矢間	409	49	131	78	54	86	11
	100.0	12.0	32.0	19.1	13.2	21.0	2.7
大張	111	16	26	24	24	17	4
	100.0	14.4	23.4	21.6	21.6	15.3	3.6
耕野	106	11	35	26	15	9	10
	100.0	10.4	33.0	24.5	14.2	8.5	9.4
無回答	84	20	23	12	8	6	15
	100.0	23.8	27.4	14.3	9.5	7.1	17.9



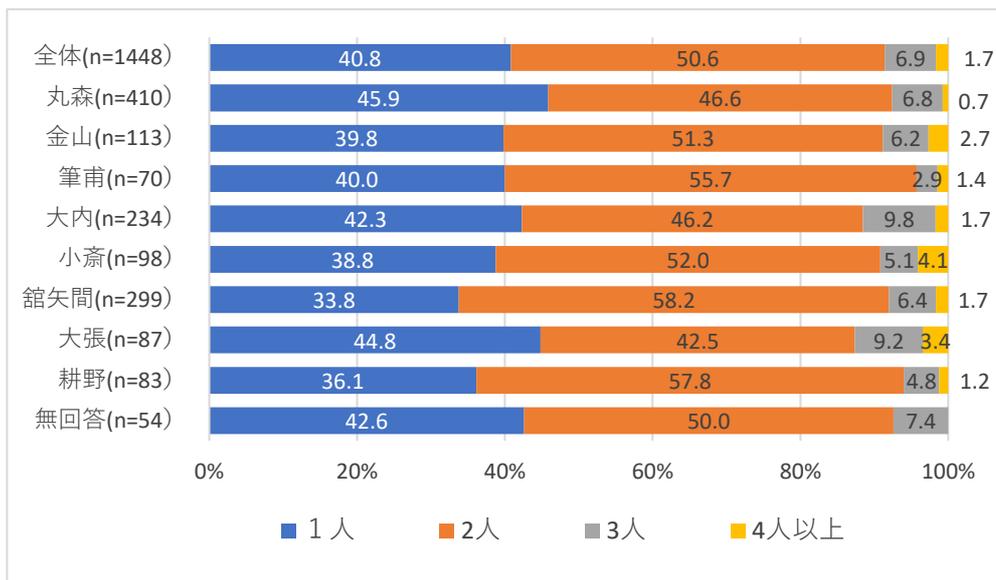
エー②)65歳以上の人数<SA>

- ・ 65歳以上の人数は、全体で見ると「2人」が最も多く733人（50.6%）、次いで「1人」が591人（40.8%）、「3人」が100人（6.9%）、「4人以上」が24人（1.7%）となっています。
- ・ 地区別に見ても、全体と同様な傾向が見られます。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	1人	2人	3人	4人以上
全体	1,448	591	733	100	24
	100.0	40.8	50.6	6.9	1.7
丸森	410	188	191	28	3
	100.0	45.9	46.6	6.8	0.7
金山	113	45	58	7	3
	100.0	39.8	51.3	6.2	2.7
筆甫	70	28	39	2	1
	100.0	40.0	55.7	2.9	1.4
大内	234	99	108	23	4
	100.0	42.3	46.2	9.8	1.7
小斎	98	38	51	5	4
	100.0	38.8	52.0	5.1	4.1
館矢間	299	101	174	19	5
	100.0	33.8	58.2	6.4	1.7
大張	87	39	37	8	3
	100.0	44.8	42.5	9.2	3.4
耕野	83	30	48	4	1
	100.0	36.1	57.8	4.8	1.2
無回答	54	23	27	4	
	100.0	42.6	50.0	7.4	



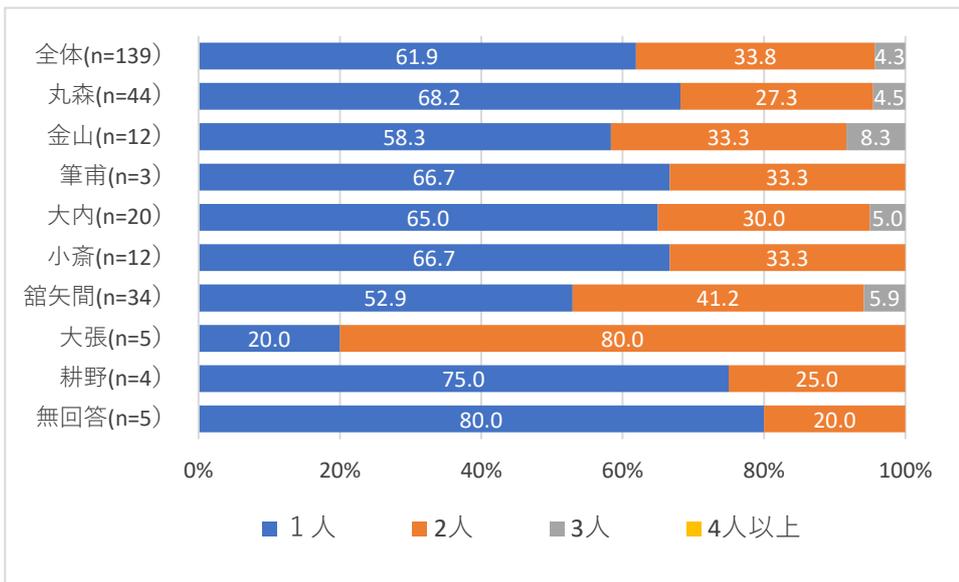
エー③) 乳幼児(小学校就学前)の人数<SA>

・ 乳幼児の人数は、全体で見ると「1人」が最も多く86世帯（61.9%）、次いで「2人」が47世帯（33.8%）などとなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	1人	2人	3人	4人以上
全体	139	86	47	6	
	100.0	61.9	33.8	4.3	
丸森	44	30	12	2	
	100.0	68.2	27.3	4.5	
金山	12	7	4	1	
	100.0	58.3	33.3	8.3	
筆甫	3	2	1		
	100.0	66.7	33.3		
大内	20	13	6	1	
	100.0	65.0	30.0	5.0	
小斎	12	8	4		
	100.0	66.7	33.3		
館矢間	34	18	14	2	
	100.0	52.9	41.2	5.9	
大張	5	1	4		
	100.0	20.0	80.0		
耕野	4	3	1		
	100.0	75.0	25.0		
無回答	5	4	1		
	100.0	80.0	20.0		



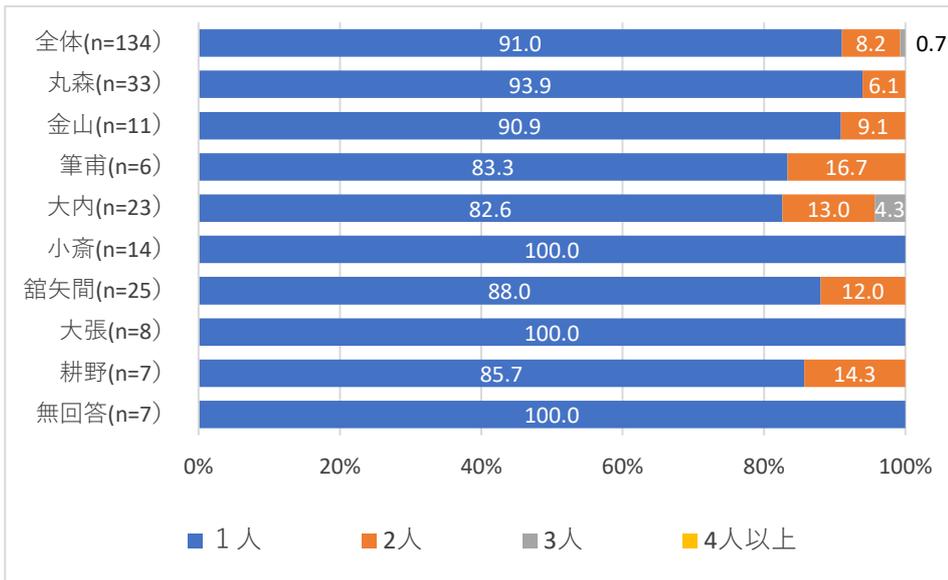
エ-④)障がいのある方の人数<SA>

・ 障がいのある方がいる世帯は、全体で見ると「1人」が最も多く122世帯（91.0%）、ついで「2人」が11世帯（8.2%）などとなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	1人	2人	3人	4人以上
全体	134	122	11	1	
	100.0	91.0	8.2	0.7	
丸森	33	31	2		
	100.0	93.9	6.1		
金山	11	10	1		
	100.0	90.9	9.1		
筆甫	6	5	1		
	100.0	83.3	16.7		
大内	23	19	3	1	
	100.0	82.6	13.0	4.3	
小斎	14	14			
	100.0	100.0			
館矢間	25	22	3		
	100.0	88.0	12.0		
大張	8	8			
	100.0	100.0			
耕野	7	6	1		
	100.0	85.7	14.3		
無回答	7	7			
	100.0	100.0			



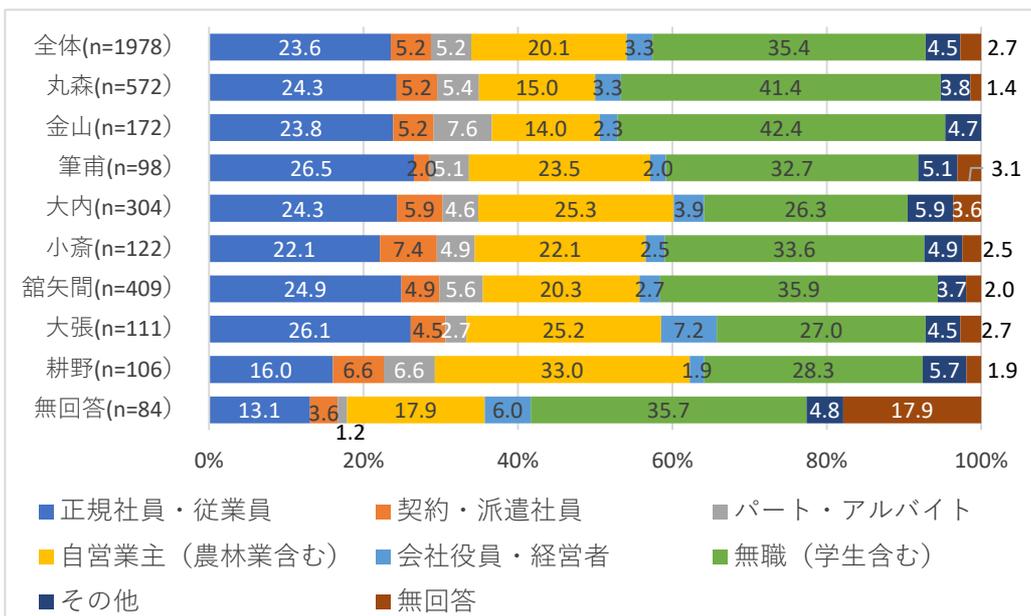
オ)職業<SA>

・ 職業は、全体で見ると「無職」が最も多く700人（35.4%）、次いで「正規社員・従業員」が466人（23.6%）、「自営業主（農林業含む）」が398人（20.1%）などとなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	従業 正規社員・ 従業員	派契 遣約 社員	アパ ー ル バ イ ト	む （ 自 営 業 主 含 む ） 農 林 業 主 含	経 会 社 役 員 ・ 営 者	む （ 無 職 学 生 含 む ）	そ の 他	無 回 答
全体	1,978	466	103	103	398	66	700	89	53
	100.0	23.6	5.2	5.2	20.1	3.3	35.4	4.5	2.7
丸森	572	139	30	31	86	19	237	22	8
	100.0	24.3	5.2	5.4	15.0	3.3	41.4	3.8	1.4
金山	172	41	9	13	24	4	73	8	
	100.0	23.8	5.2	7.6	14.0	2.3	42.4	4.7	
筆甫	98	26	2	5	23	2	32	5	3
	100.0	26.5	2.0	5.1	23.5	2.0	32.7	5.1	3.1
大内	304	74	18	14	77	12	80	18	11
	100.0	24.3	5.9	4.6	25.3	3.9	26.3	5.9	3.6
小斎	122	27	9	6	27	3	41	6	3
	100.0	22.1	7.4	4.9	22.1	2.5	33.6	4.9	2.5
館矢間	409	102	20	23	83	11	147	15	8
	100.0	24.9	4.9	5.6	20.3	2.7	35.9	3.7	2.0
大張	111	29	5	3	28	8	30	5	3
	100.0	26.1	4.5	2.7	25.2	7.2	27.0	4.5	2.7
耕野	106	17	7	7	35	2	30	6	2
	100.0	16.0	6.6	6.6	33.0	1.9	28.3	5.7	1.9
無回答	84	11	3	1	15	5	30	4	15
	100.0	13.1	3.6	1.2	17.9	6.0	35.7	4.8	17.9



問2. このたびの台風に伴う避難についてお聞きします。

●調査票（世帯代表、世帯員 共通）

問2. このたびの台風に伴う避難についてお聞きします。

問2-1. あなたはどのように対応しましたか。（1つに○をつけてください）

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 1. 事前に避難を開始した（日時： 月 日 時 分頃） | } → 問3へ |
| 2. 危険を感じてから避難した（日時： 月 日 時 分頃） | |
| 3. 避難したかったができなかった（理由： | |
| 4. 避難しなかった（理由： | |
| 5. その他（ | |

上記問2-1. で「1.」「2.」を選んだ方にお聞きします。

問2-2. 避難を判断した情報はどこから入手しましたか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

- | | | |
|-----------------|-------------------------|---------------------|
| 1. テレビ、ラジオ | 2. 防災無線（屋外放送） | 3. インターネット情報（SNS含む） |
| 4. まるもり安心・安全メール | 5. エリアメール（携帯各社の緊急速報メール） | |
| 6. 家族や近所等の人の声掛け | 7. その他（ | ） |

問2-3. どこに、どうやって避難しましたか。（1つずつ○をつけてください）

■どこに（町内・町外も選択してください。）

- | | |
|---|---------|
| 1. 町指定の避難所（以下「避難所」といいます。）
もしくは町内のその他施設
（具体的な避難所・施設名称： | ） |
| 2. 親類や知人宅（町内・町外） | |
| 3. その他（ | （町内・町外） |

■どうやって

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 徒歩 | |
| 2. 自転車・バイク | |
| 3. 自家用車（家族、知人のもの含む） | |
| 4. タクシー | |
| 5. その他（ | ） |

問2-4. 避難に関して課題と感じたことはどれですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

- | | |
|---|---|
| 1. 避難するための情報が入手しづらかった | |
| 2. 避難所の場所を知らなかった | |
| 3. 避難所までの移動が困難だった（例 冠水、落石、遠距離など） | |
| 4. 避難所の備蓄や運営体制が不十分だった | |
| 5. 避難所での乳幼児や女性に対する支援が不十分だった | |
| 6. 避難所での避難行動要支援者（高齢者、障がいのある方等）への支援が不十分だった | |
| 7. その他（ | ） |

問2-1. あなたはどのように対応しましたか。〈SA〉

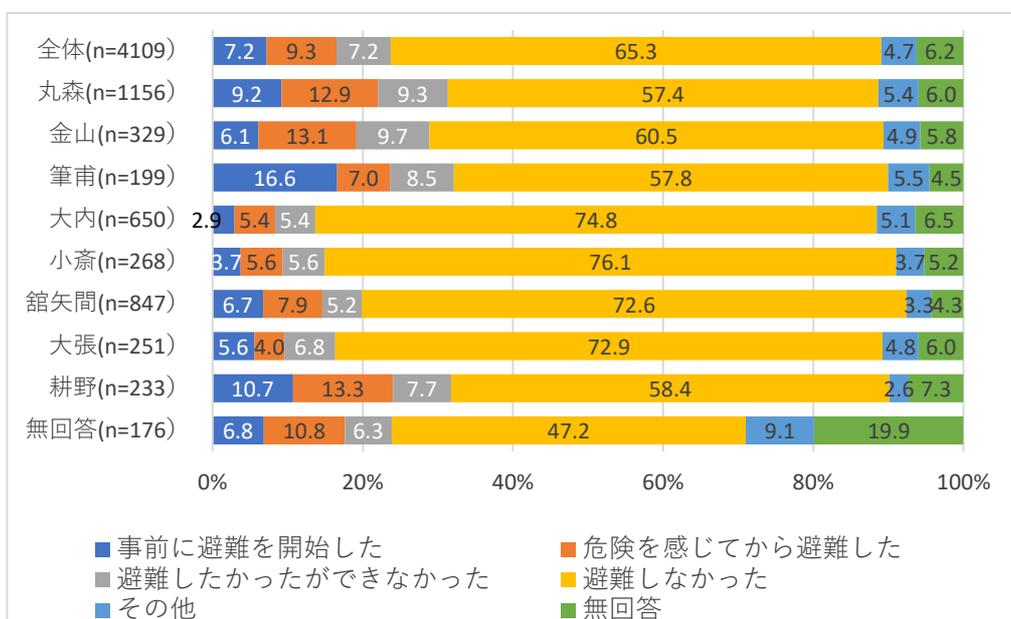
【避難の対応】

- ・ 避難の対応は、全体で見ると「避難しなかった」が最も多く2,684人（65.3%）、次いで「危険を感じてから避難した」が383人（9.3%）、「避難したかったができなかった」が296人（7.2%）などとなっています。
- ・ 「事前に避難を開始した」が他地区に比べて割合が多いのは、筆甫と耕野の2地区となっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段：サンプル数、下段：%

	合計	事前に避難を開始した	危険を感じてから避難した	避難できなかった	避難しなかった	その他	無回答
全体	4,109	296	383	296	2,684	194	256
	100.0	7.2	9.3	7.2	65.3	4.7	6.2
丸森	1,156	106	149	107	663	62	69
	100.0	9.2	12.9	9.3	57.4	5.4	6.0
金山	329	20	43	32	199	16	19
	100.0	6.1	13.1	9.7	60.5	4.9	5.8
筆甫	199	33	14	17	115	11	9
	100.0	16.6	7.0	8.5	57.8	5.5	4.5
大内	650	19	35	35	486	33	42
	100.0	2.9	5.4	5.4	74.8	5.1	6.5
小斎	268	10	15	15	204	10	14
	100.0	3.7	5.6	5.6	76.1	3.7	5.2
館矢間	847	57	67	44	615	28	36
	100.0	6.7	7.9	5.2	72.6	3.3	4.3
大張	251	14	10	17	183	12	15
	100.0	5.6	4.0	6.8	72.9	4.8	6.0
耕野	233	25	31	18	136	6	17
	100.0	10.7	13.3	7.7	58.4	2.6	7.3
無回答	176	12	19	11	83	16	35
	100.0	6.8	10.8	6.3	47.2	9.1	19.9



問2-1. あなたはどのように対応しましたか。

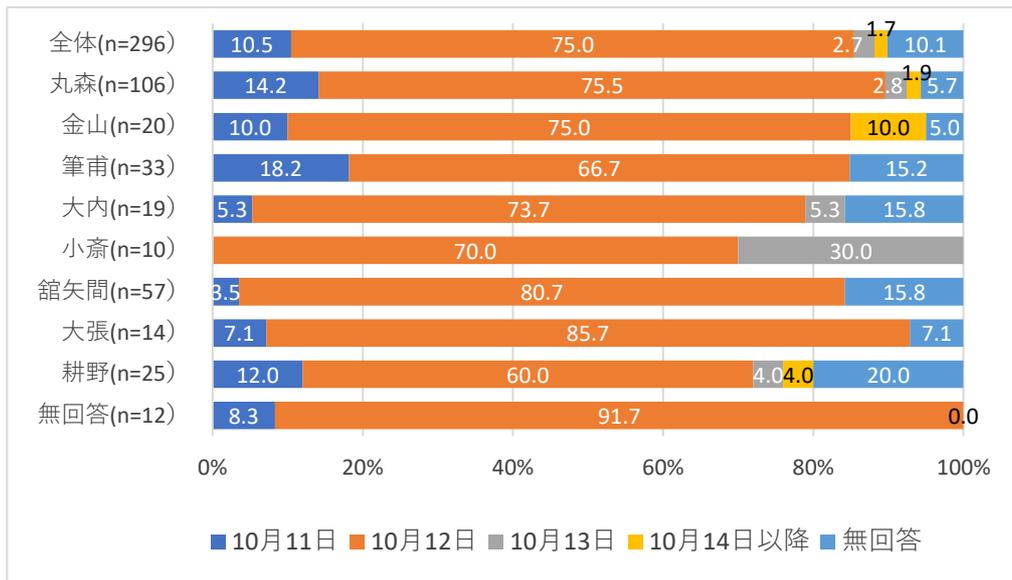
【事前に避難を開始した日】<SA>

・ 「事前に避難を開始した」と答えた方が避難した日は、全体で見ると「10月12日」222人（75.0%）が最も多く、次いで「10月11日」31人（10.5%）となっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段：サンプル数、下段：%

	合計	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日以降	無回答
全体	296	31	222	8	5	30
	100.0	10.5	75.0	2.7	1.7	10.1
丸森	106	15	80	3	2	6
	100.0	14.2	75.5	2.8	1.9	5.7
金山	20	2	15		2	1
	100.0	10.0	75.0		10.0	5.0
筆甫	33	6	22			5
	100.0	18.2	66.7			15.2
大内	19	1	14	1		3
	100.0	5.3	73.7	5.3		15.8
小斎	10		7	3		
	100.0		70.0	30.0		
館矢間	57	2	46			9
	100.0	3.5	80.7			15.8
大張	14	1	12			1
	100.0	7.1	85.7			7.1
耕野	25	3	15	1	1	5
	100.0	12.0	60.0	4.0	4.0	20.0
無回答	12	1	11			
	100.0	8.3	91.7			



問2-1. あなたはどのように対応しましたか。

【事前に避難を開始した時間】<SA>

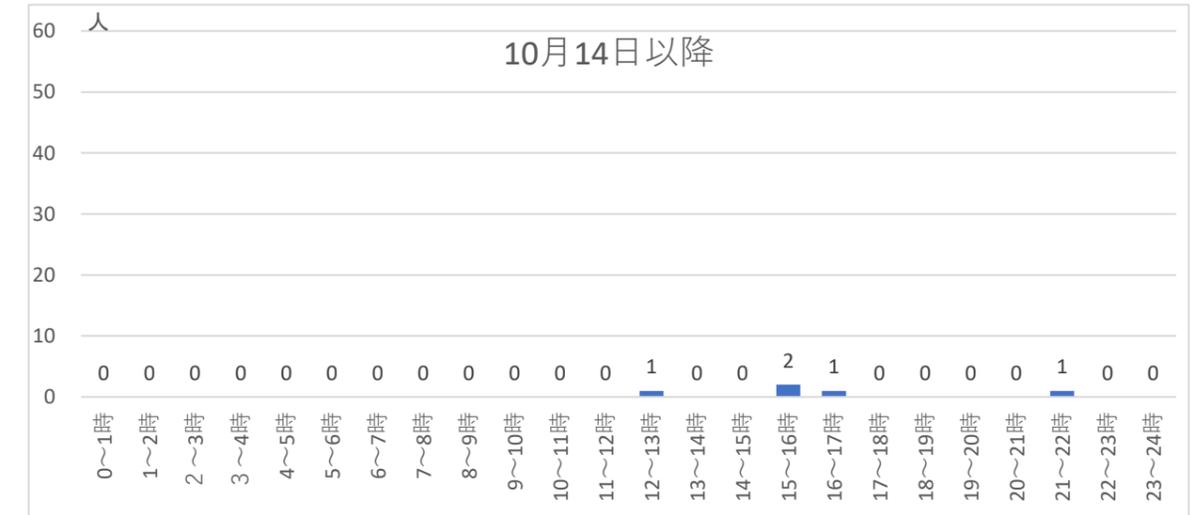
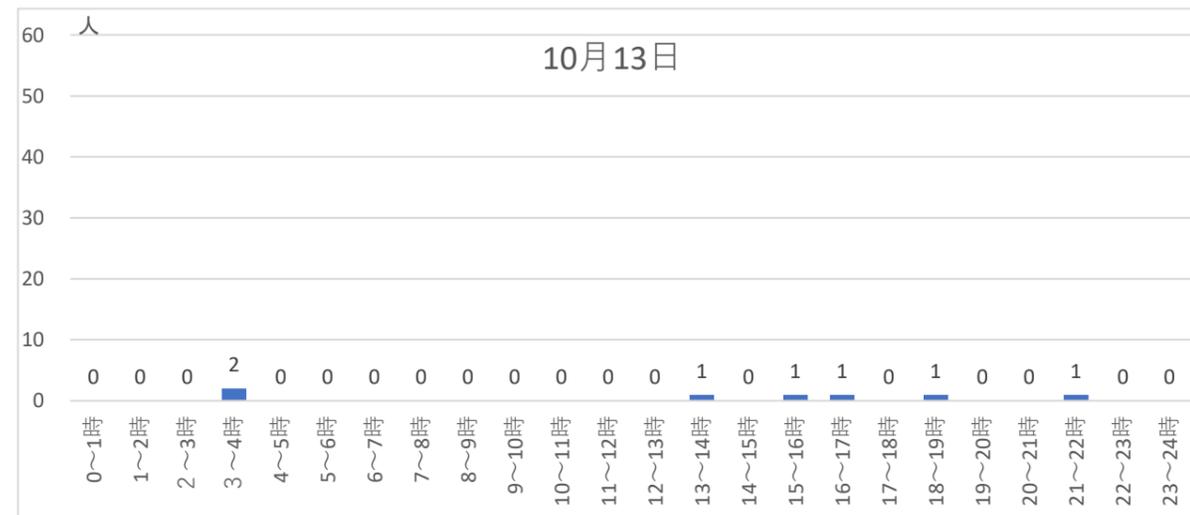
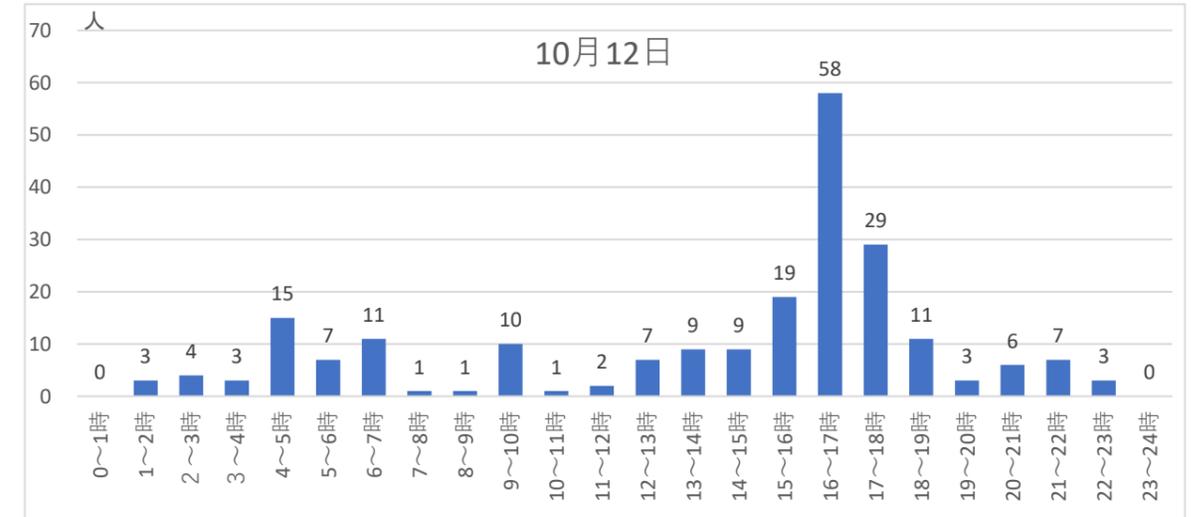
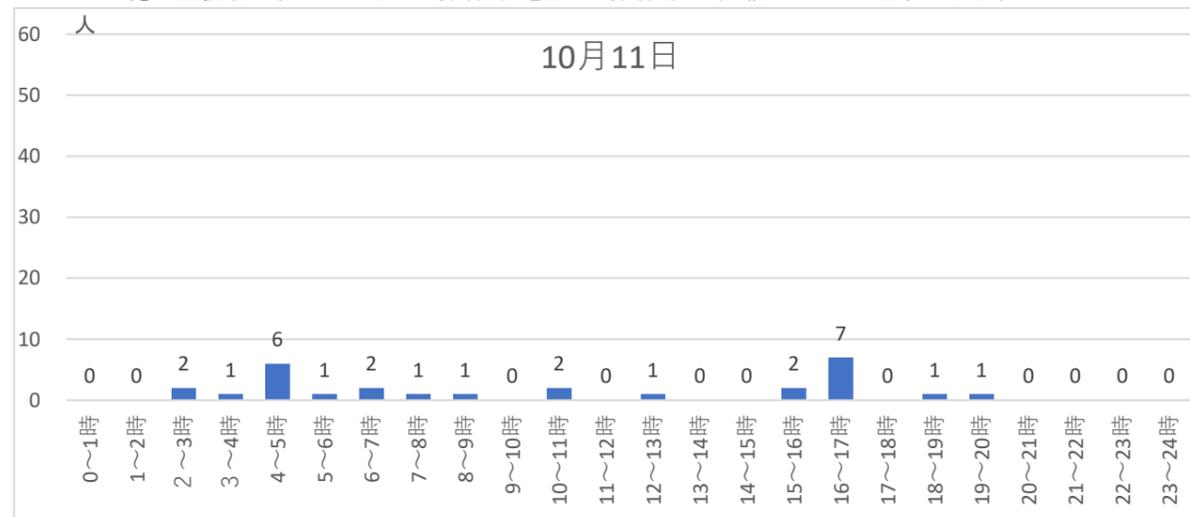
・「事前に避難を開始した」と回答した方が「避難した時間」は、避難者が最多だった10月12日で見ると「16～17時」が最も多く58人、次いで「17～18時」29人、「15～16時」が19人などとなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	0～1時	1～2時	2～3時	3～4時	4～5時	5～6時	6～7時	7～8時	8～9時	9～10時	10～11時	11～12時	12～13時	13～14時	14～15時	15～16時	16～17時	17～18時	18～19時	19～20時	20～21時	21～22時	22～23時	23～24時	無回答
全体	296		3	6	6	23	8	13	2	2	10	3	2	10	10	9	24	67	29	13	4	6	10	3	33	
	100.0		1.0	2.0	2.0	7.8	2.7	4.4	0.7	0.7	3.4	1.0	0.7	3.4	3.4	3.0	8.1	22.6	9.8	4.4	1.4	2.0	3.4	1.0	11.1	
10月11日	31			2	1	6	1	2	1	1	2	2		1			2	7		1	1				3	
	10.5			6.5	3.2	19.4	3.2	6.5	3.2	3.2	6.5			3.2			6.5	22.6		3.2	3.2				9.7	
10月12日	222		3	4	3	15	7	11	1	1	10	1	2	7	9	9	19	58	29	11	3	6	7	3	3	
	75.0		1.4	1.8	1.4	6.8	3.2	5.0	0.5	0.5	4.5	0.5	0.9	3.2	4.1	4.1	8.6	26.1	13.1	5.0	1.4	2.7	3.2	1.4	1.4	
10月13日	8				2										1		1	1		1			1		1	
	2.7				25.0										12.5		12.5	12.5		12.5			12.5		12.5	
10月14日以降	5													1			2	1					1			
	1.7													20.0			40.0	20.0					20.0			
無回答	30					2								1									1		26	
	10.1					6.7								3.3									3.3		86.7	

※「4～5時」の選択者が多いのは、24時間表記を、12時間表記で記載したためと思われます。



問2-1. あなたはどのように対応しましたか。

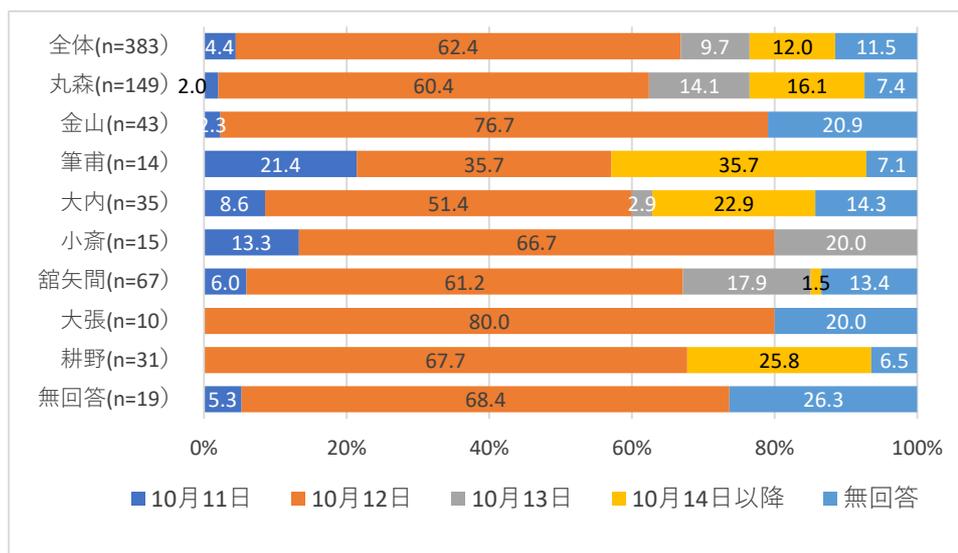
【危険を感じてから避難した日】<SA>

- ・ 「危険を感じてから避難した」と答えた方が避難した日は、全体で見ると単日で最も多いのが「10月12日」239人（62.4%）で、次いで「10月13日」37人（9.7%）です。
- ・ なお、「事前に避難を開始した」では「10月14日以降」（5人）がわずかだったのに対し、「危険を感じてから避難した」では46人と多くなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日以降	無回答
全体	383	17	239	37	46	44
	100.0	4.4	62.4	9.7	12.0	11.5
丸森	149	3	90	21	24	11
	100.0	2.0	60.4	14.1	16.1	7.4
金山	43	1	33			9
	100.0	2.3	76.7			20.9
筆甫	14	3	5		5	1
	100.0	21.4	35.7		35.7	7.1
大内	35	3	18	1	8	5
	100.0	8.6	51.4	2.9	22.9	14.3
小斎	15	2	10	3		
	100.0	13.3	66.7	20.0		
館矢間	67	4	41	12	1	9
	100.0	6.0	61.2	17.9	1.5	13.4
大張	10		8			2
	100.0		80.0			20.0
耕野	31		21		8	2
	100.0		67.7		25.8	6.5
無回答	19	1	13			5
	100.0	5.3	68.4			26.3



問2-1. あなたはどのように対応しましたか。

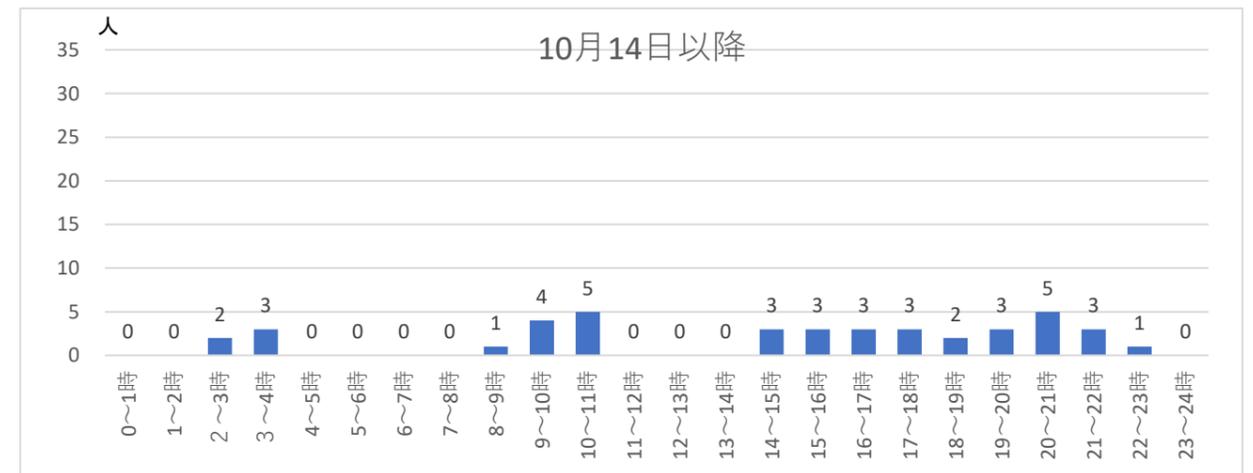
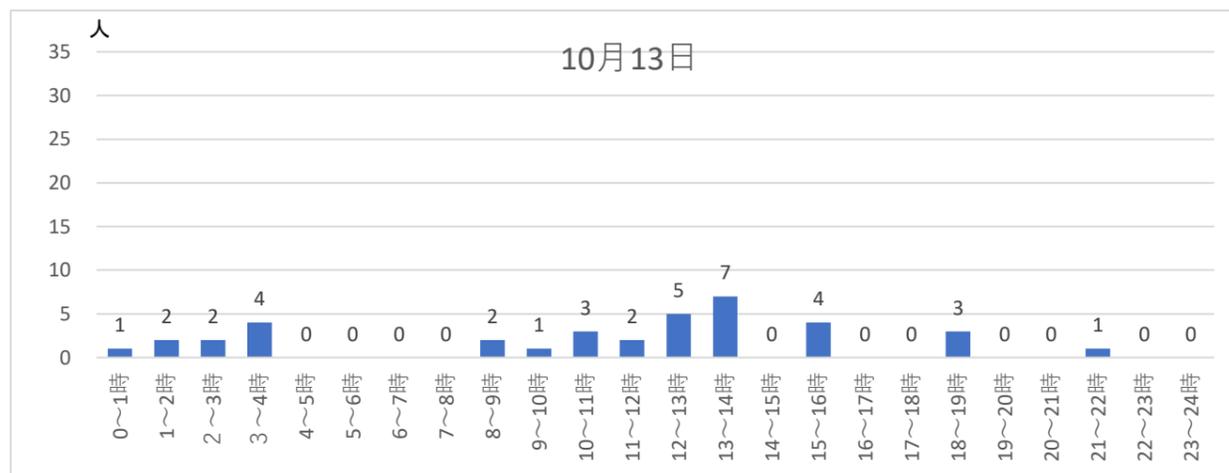
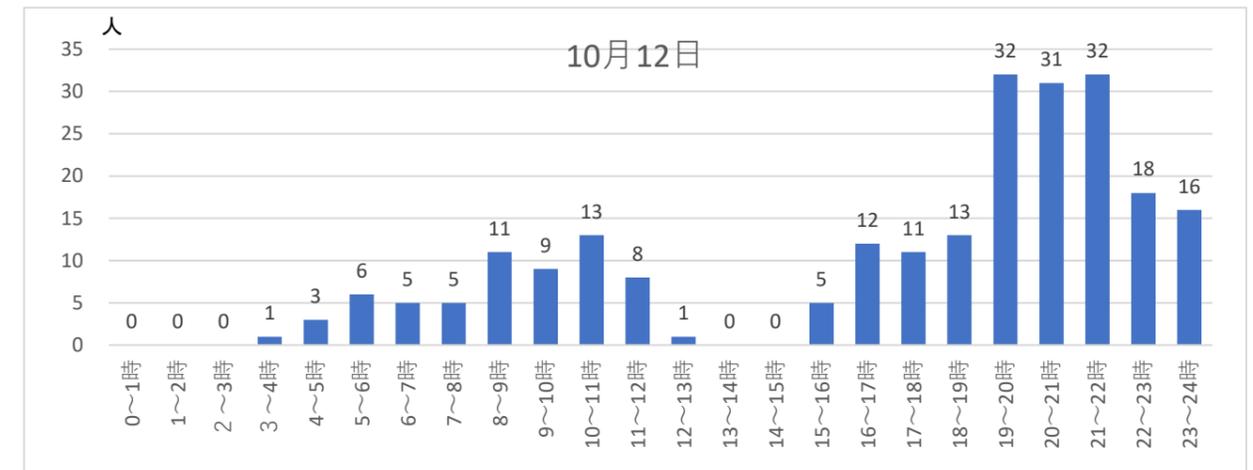
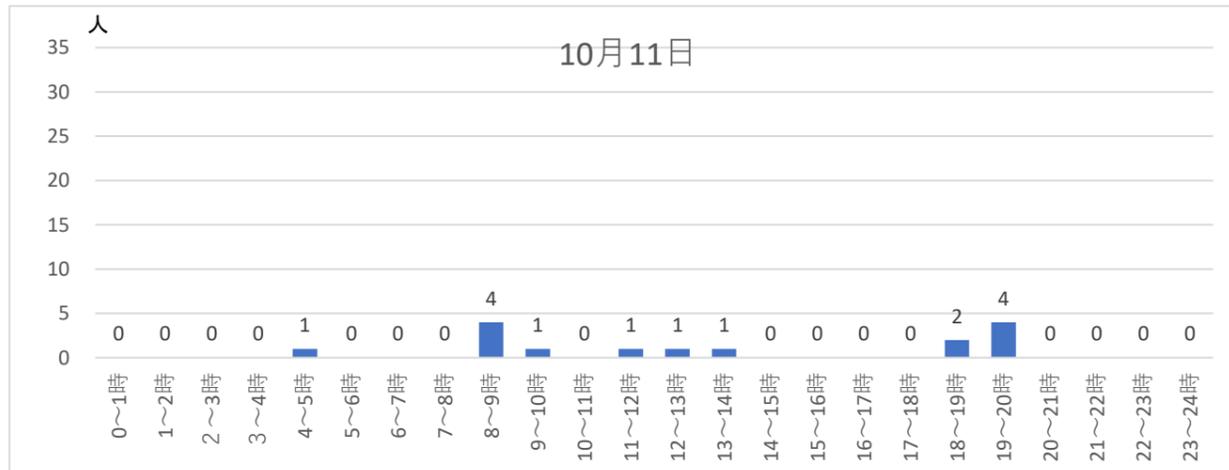
【危険を感じてから避難した時間】<SA>

・「危険を感じてから避難した」と回答した方が「避難した時間」は、避難者が最多だった10月12日で見ると「19～20時」ならびに「21～22時」が最も多くともに32人、次いで「20～21時」が31人、「22～23時」が18人、「23～24時」が16人などとなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

	合計	上段: サンプル数、下段: %																								
		0～1時	1～2時	2～3時	3～4時	4～5時	5～6時	6～7時	7～8時	8～9時	9～10時	10～11時	11～12時	12～13時	13～14時	14～15時	15～16時	16～17時	17～18時	18～19時	19～20時	20～21時	21～22時	22～23時	23～24時	無回答
全体	383	1	2	4	8	4	7	6	5	18	15	23	11	7	8	3	12	17	14	20	39	37	36	24	17	45
	100.0	0.3	0.5	1.0	2.1	1.0	1.8	1.6	1.3	4.7	3.9	6.0	2.9	1.8	2.1	0.8	3.1	4.4	5.2	10.2	9.7	9.4	6.3	4.4	11.7	
10月11日	17					1				4	1		1	1	1					2	4					2
	4.4					5.9				23.5	5.9		5.9	5.9	5.9					11.8	23.5					11.8
10月12日	239				1	3	6	5	5	11	9	13	8	1		5	12	11	13	32	31	32	18	16	7	
	62.4				0.4	1.3	2.5	2.1	2.1	4.6	3.8	5.4	3.3	0.4		2.1	5.0	4.6	5.4	13.4	13.0	13.4	7.5	6.7	2.9	
10月13日	37	1	2	2	4					2	1	3	2	5	7		4			3			1			
	9.7	2.7	5.4	5.4	10.8					5.4	2.7	8.1	5.4	13.5	18.9		10.8			8.1			2.7			
10月14日以降	46			2	3					1	4	5				3	3	3	3	2	3	5	3	1	5	
	12.0			4.3	6.5					2.2	8.7	10.9				6.5	6.5	6.5	6.5	4.3	6.5	10.9	6.5	2.2	10.9	
無回答	44						1	1				2						2				1	5	1	31	
	11.5						2.3	2.3				4.5						4.5				2.3	11.4	2.3	70.5	

※24時間表記と12時間表記が混在している可能性があります。



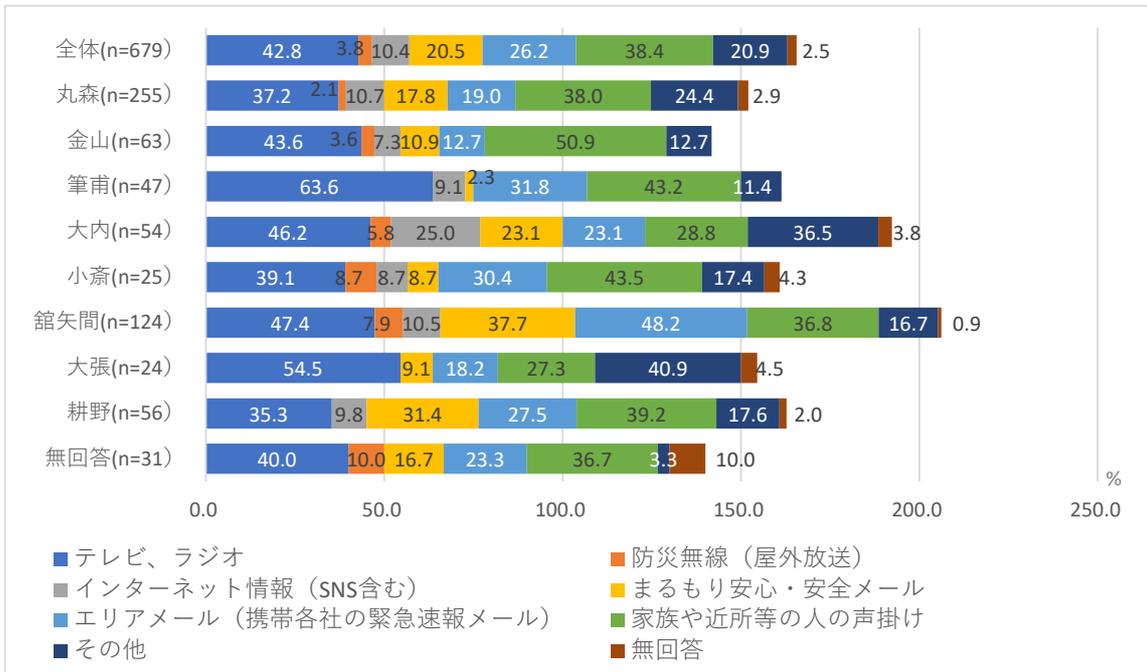
問2-2. 避難を判断した情報の入手先<MA>

- ・ 避難を判断した際の情報源は、全地区で見ると「テレビ、ラジオ」が最も多く288人（42.4%）、次いで「家族や近所等の人の声掛け」260人（38.3%）、「エリアメール」184人（27.1%）などとなっています。
- ・ 地区別に見ると、丸森、金山、小斎、耕野地区は「家族や近所等の人の声掛け」、筆甫、大内、大張地区は「テレビ、ラジオ」、館矢間地区は「エリアメール」が最多であることが特徴となっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

	回答者数 (合計)	上段:サンプル数、下段:%							
		テレビ、 ラジオ	防災無線 (屋外放送)	インターネット 情報 (SNS 含む)	まるもり安心・ 安全メール	緊急速報 メール	エリアメール (携帯各社の 緊急速報メール)	家族や近所等 の人の声掛け	その他
全体	679	288 42.4	27 4.0	70 10.3	135 19.9	184 27.1	260 38.3	137 20.2	18 2.7
丸森	255	94 36.9	5 2.0	27 10.6	43 16.9	49 19.2	97 38.0	64 25.1	8 3.1
金山	63	26 41.3	2 3.2	4 6.3	6 9.5	10 15.9	32 50.8	7 11.1	
筆甫	47	29 61.7	2 4.3	4 8.5	3 6.4	16 34.0	19 40.4	5 10.6	
大内	54	25 46.3	3 5.6	13 24.1	12 22.2	13 24.1	15 27.8	19 35.2	2 3.7
小斎	25	11 44.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0	8 32.0	10 40.0	4 16.0	1 4.0
館矢間	124	59 47.6	9 7.3	14 11.3	44 35.5	61 49.2	45 36.3	19 15.3	1 0.8
大張	24	12 50.0	1 4.2		2 8.3	4 16.7	6 25.0	9 37.5	2 8.3
耕野	56	20 35.7		6 10.7	16 28.6	16 28.6	24 42.9	9 16.1	1 1.8
無回答	31	12 38.7	3 9.7		5 16.1	7 22.6	12 38.7	1 3.2	3 9.7

※ 複数回答する設問の回答割合の算出に当たっては、分母を回答数ではなく回答者数としています。そのため、割合の合計が100%を超えています。



問2-3. どこにどうやって避難しましたか

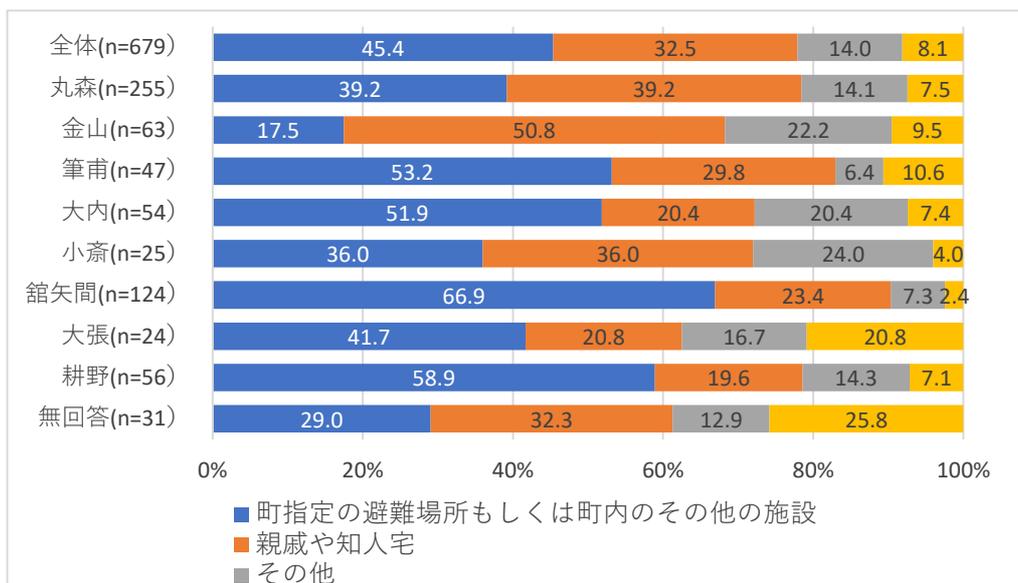
【避難先】<SA>

- ・ 避難先は、全体で見ると「町指定の避難場所もしくは町内のその他の施設」が最も多く 308人（45.4%）、次いで「親戚や知人宅」221人（32.5%）などとなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段：サンプル数、下段：%

	合計	町指定の避難場所 もしくは町内の その他の施設	親戚や知人宅	その他	無回答
全体	679	308	221	95	55
	100.0	45.4	32.5	14.0	8.1
丸森	255	100	100	36	19
	100.0	39.2	39.2	14.1	7.5
金山	63	11	32	14	6
	100.0	17.5	50.8	22.2	9.5
筆甫	47	25	14	3	5
	100.0	53.2	29.8	6.4	10.6
大内	54	28	11	11	4
	100.0	51.9	20.4	20.4	7.4
小斎	25	9	9	6	1
	100.0	36.0	36.0	24.0	4.0
館矢間	124	83	29	9	3
	100.0	66.9	23.4	7.3	2.4
大張	24	10	5	4	5
	100.0	41.7	20.8	16.7	20.8
耕野	56	33	11	8	4
	100.0	58.9	19.6	14.3	7.1
無回答	31	9	10	4	8
	100.0	29.0	32.3	12.9	25.8



問2-3. どこにどうやって避難しましたか

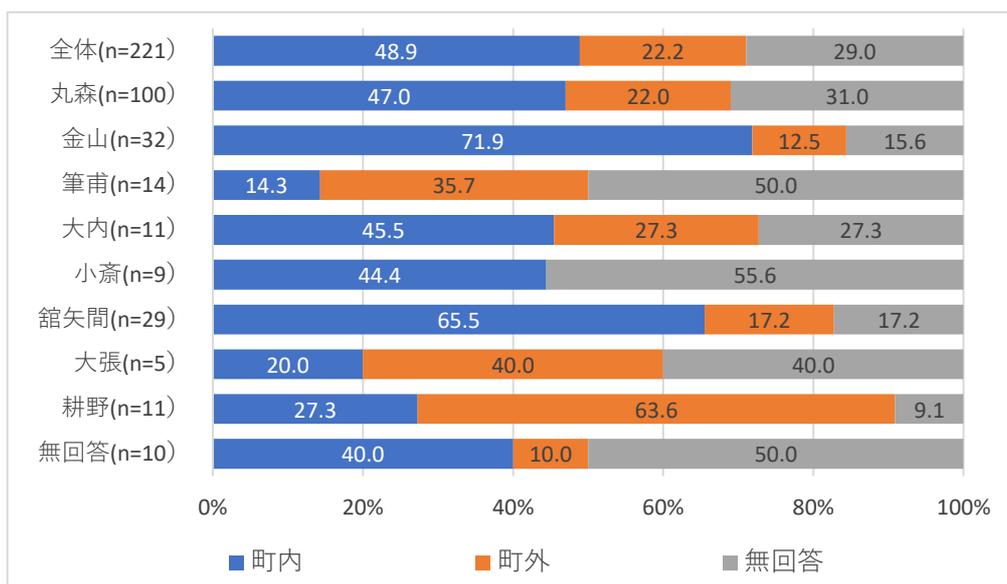
【親類や知人宅の場所】<SA>

- ・ 避難先となった「親戚や知人宅」の場所は、全体で見ると「町内」が最も多く108人（48.9%）、「町外」49人（22.2%）となっています。
- ・ 地区別に見ると、耕野地区における「町外」の比率が他地区に比べてかなり高くなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段：サンプル数、下段：%

	合計	町内	町外	無回答
全体	221	108	49	64
	100.0	48.9	22.2	29.0
丸森	100	47	22	31
	100.0	47.0	22.0	31.0
金山	32	23	4	5
	100.0	71.9	12.5	15.6
筆甫	14	2	5	7
	100.0	14.3	35.7	50.0
大内	11	5	3	3
	100.0	45.5	27.3	27.3
小斎	9	4		5
	100.0	44.4		55.6
館矢間	29	19	5	5
	100.0	65.5	17.2	17.2
大張	5	1	2	2
	100.0	20.0	40.0	40.0
耕野	11	3	7	1
	100.0	27.3	63.6	9.1
無回答	10	4	1	5
	100.0	40.0	10.0	50.0



問2-3. どこにどうやって避難しましたか

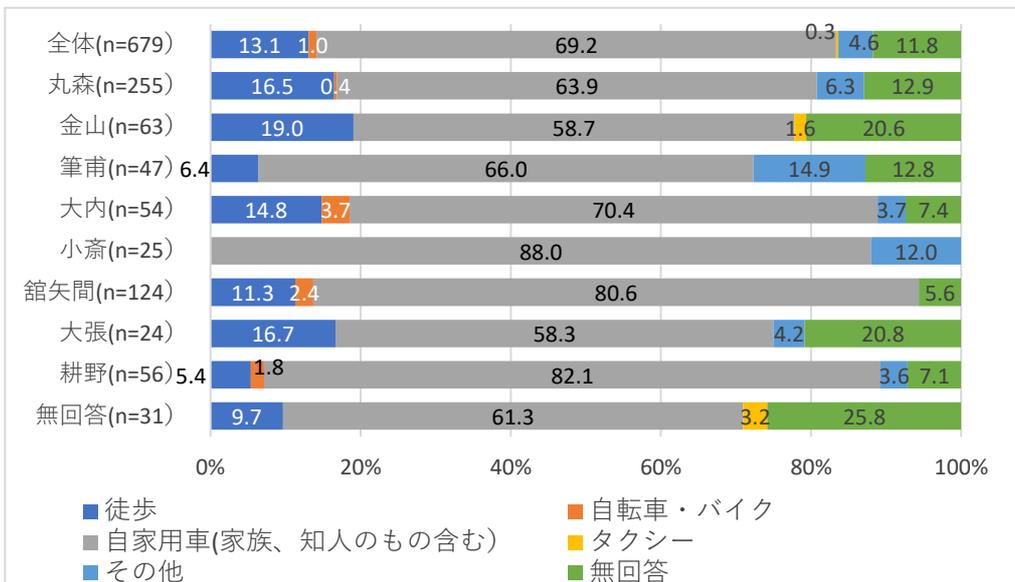
【避難時の交通手段】<SA>

- ・ 避難時の交通手段は、全体で見ると「自家用車」が最も多く470人（69.2%）、次いで「徒歩」が89人（13.1%）などとなっています。
- ・ 地区別に見ると、丸森、金山、大内、大張の4地区は、「徒歩」の比率が他地区に比べて高くなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	徒歩	自転車・バイク	知人自家用車(家族、のもの含む)	タクシー	その他	無回答
全体	679	89	7	470	2	31	80
	100.0	13.1	1.0	69.2	0.3	4.6	11.8
丸森	255	42	1	163		16	33
	100.0	16.5	0.4	63.9		6.3	12.9
金山	63	12		37	1		13
	100.0	19.0		58.7	1.6		20.6
筆甫	47	3		31		7	6
	100.0	6.4		66.0		14.9	12.8
大内	54	8	2	38		2	4
	100.0	14.8	3.7	70.4		3.7	7.4
小斎	25			22		3	
	100.0			88.0		12.0	
館矢間	124	14	3	100			7
	100.0	11.3	2.4	80.6			5.6
大張	24	4		14		1	5
	100.0	16.7		58.3		4.2	20.8
耕野	56	3	1	46		2	4
	100.0	5.4	1.8	82.1		3.6	7.1
無回答	31	3		19	1		8
	100.0	9.7		61.3	3.2		25.8



問2-4. 避難に関して課題と感じたことはどれですか<MA>

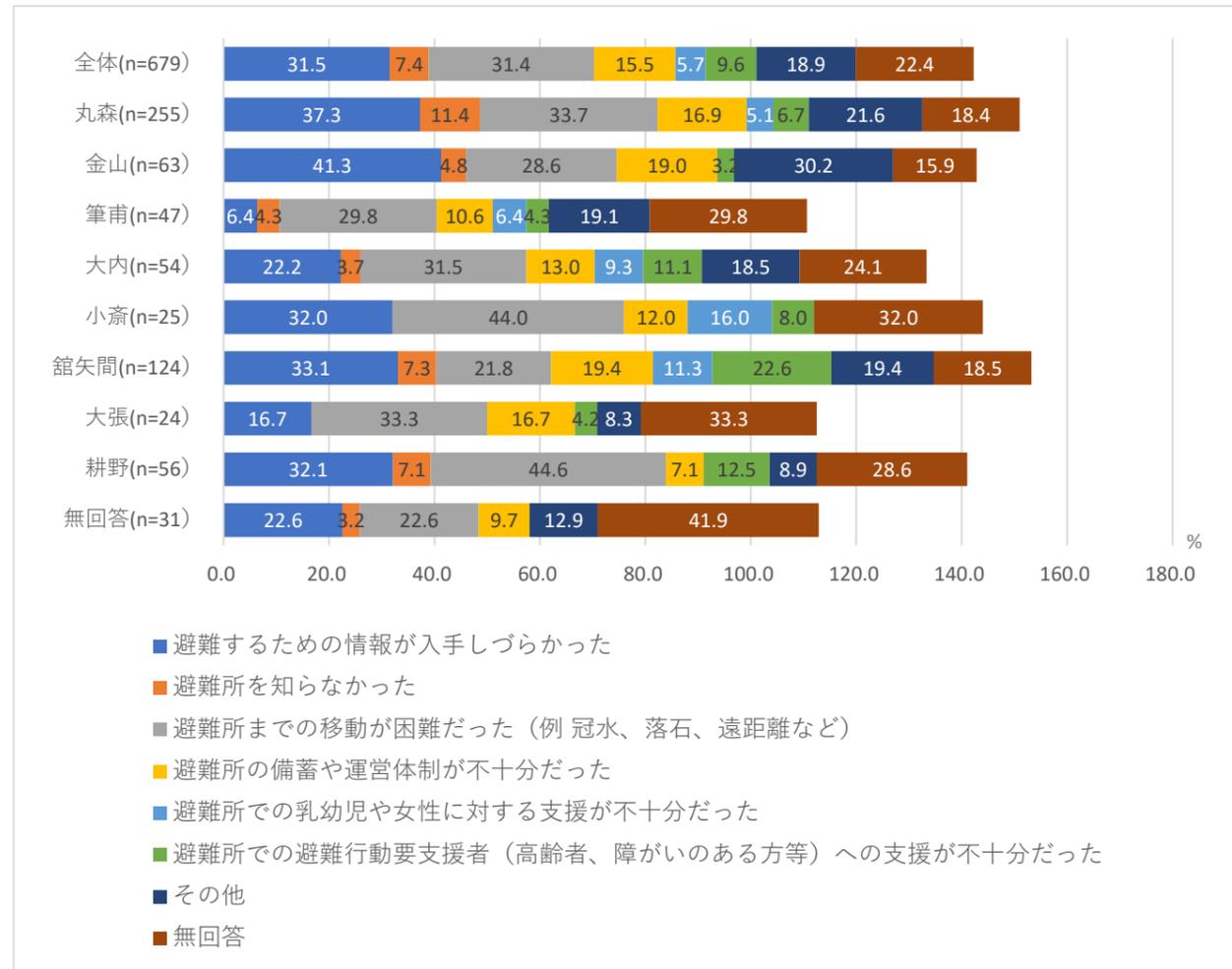
- 避難に関して感じた課題は、全体で見ると「避難するための情報が入手しづらかった」が最も多く214人（31.5%）、僅差で「避難所までの移動が困難だった」が213人（31.4%）が続き、この項目で6割を超えています。
- 地区別に見ると、丸森、金山、館矢間の3地区では、「避難するための情報が入手しづらかった」の比率が最も高く、他地区に比べても高くなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段: サンプル数、下段: %

	回答者数 (合計)	避難するための情報が 入手しづらかった	避難所を知らなかった	遠距離などでの移動が 困難だった(例 冠水、 落石、)	避難所までの移動が 困難だった(例 冠水、 落石、)	避難所の備蓄や運営 体制が不十分だった	避難所での乳幼児や 女性に対する支援が 不十分だった	避難所での避難行動 要支援者(高齢者、障 がいのある方等)への 支援が不十分だった	その他	無回答
全体	679	214	50	213	105	39	65	128	152	
		31.5	7.4	31.4	15.5	5.7	9.6	18.9	22.4	
丸森	255	95	29	86	43	13	17	55	47	
		37.3	11.4	33.7	16.9	5.1	6.7	21.6	18.4	
金山	63	26	3	18	12		2	19	10	
		41.3	4.8	28.6	19.0		3.2	30.2	15.9	
筆甫	47	3	2	14	5	3	2	9	14	
		6.4	4.3	29.8	10.6	6.4	4.3	19.1	29.8	
大内	54	12	2	17	7	5	6	10	13	
		22.2	3.7	31.5	13.0	9.3	11.1	18.5	24.1	
小斎	25	8		11	3	4	2		8	
		32.0		44.0	12.0	16.0	8.0		32.0	
館矢間	124	41	9	27	24	14	28	24	23	
		33.1	7.3	21.8	19.4	11.3	22.6	19.4	18.5	
大張	24	4		8	4		1	2	8	
		16.7		33.3	16.7		4.2	8.3	33.3	
耕野	56	18	4	25	4		7	5	16	
		32.1	7.1	44.6	7.1		12.5	8.9	28.6	
無回答	31	7	1	7	3			4	13	
		22.6	3.2	22.6	9.7		12.9		41.9	

※ 複数回答する設問の回答割合の算出に当たっては、分母を回答数ではなく回答者数としています。そのため、割合の合計が100%を超えています。



問3. お住まいの状況についてお聞きします

●調査票（世帯代表）

問3. お住まいの状況についてお聞きします。

問3-1. 台風以前のお住まいの地区はどこですか。（1つに○をつけてください）

1. 丸森	2. 金山	3. 筆甫	その行政区をお書きください
4. 大内	5. 小斎	6. 館矢間	
7. 大張	8. 耕野		

問3-2. 現在のお住まいの状況を教えてください。（1つに○をつけてください）

1. 台風以前と同じ住まい		
2. 台風以後は別の住まい（地区名又は他市町村名：_____）		
上記「2.」を選択した方は下記の中から1つに○をつけてください。		
1. 仮設住宅	2. みなし仮設住宅	3. 民間賃貸住宅
4. 親類や知人宅	5. その他（_____）	

問3-3. お住まいの台風の被害状況を教えてください。
（あてはまるものすべてに○をつけてください）

■被害の種類	■被害の規模(り災証明で判定された規模)	
1. 土砂	1. 全壊	2. 大規模半壊
2. 浸水（床上 約 _____ m・床下）	3. 半壊	4. 一部損壊
3. 特に被害はなかった →問5へ	5. その他（_____）	

問3-4. これからの住まいについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
（1つに○をつけてください）

1. 建替え、移転などの再建を予定している →問4へ
2. 台風以前からの住まいの修繕等を行い住み続ける →問4-4へ
3. その他（_____） →問4へ

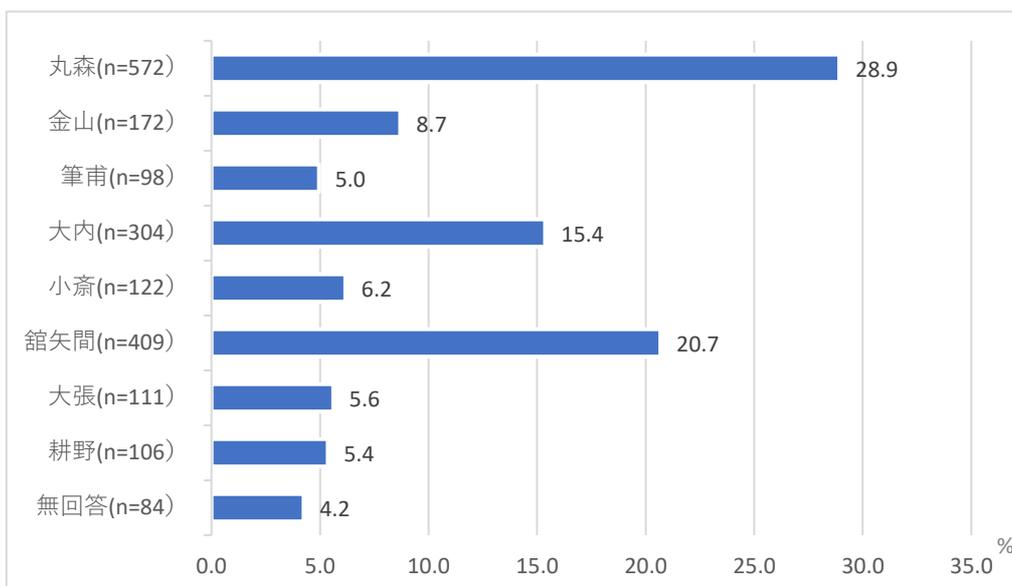
問3-1. 台風以前のお住まいの地区はどこですか<SA>

- ・ 台風以前に住んでいた地区は、「丸森」が最も多く572人（28.9%）、次いで「館矢間」409人（20.7%）、「大内」304人（15.4%）などとなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段：サンプル数、下段：%

全体	丸森	金山	筆甫	大内	小斎	館矢間	大張	耕野	無回答
1,978	572	172	98	304	122	409	111	106	84
100.0	28.9	8.7	5.0	15.4	6.2	20.7	5.6	5.4	4.2



問3-2. 現在のお住まいの状況を教えてください

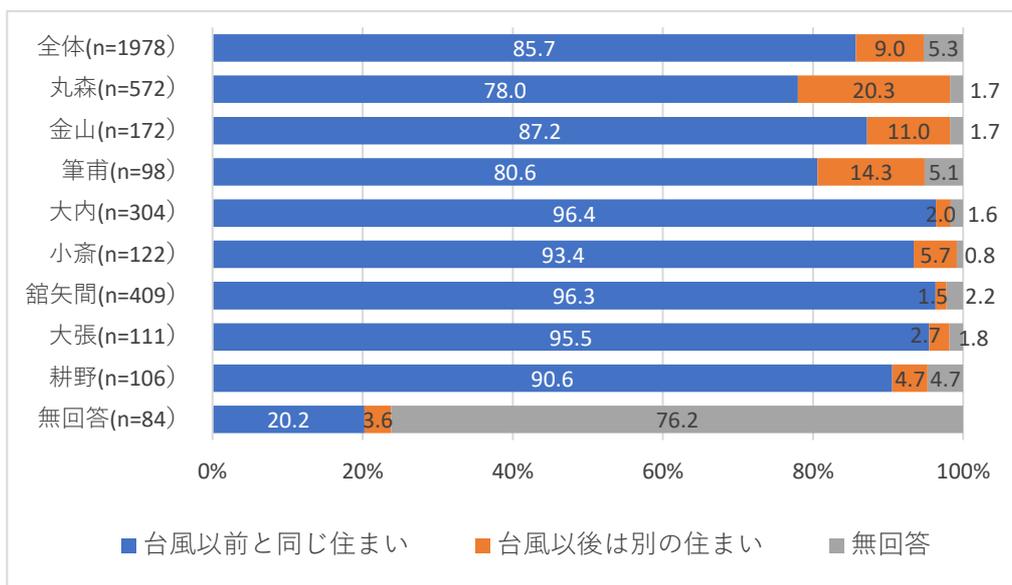
【現在の住まいの状況】<SA>

- ・ 現在の住まいの状況は、全体で見ると「台風以前と同じ住まい」が多く1,592人（85.7%）、「台風以後は別の住まい」が173人（9.3%）となっています。
- ・ 地区別に見ると、丸森、金山、筆甫の3地区は、「台風以後は別の住まい」の比率が他地区に比べてやや高くなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	台風以前と同じ住まい	台風の住以後は別の住まい	無回答
全体	1,978	1,695	179	104
	100.0	85.7	9.0	5.3
丸森	572	446	116	10
	100.0	78.0	20.3	1.7
金山	172	150	19	3
	100.0	87.2	11.0	1.7
筆甫	98	79	14	5
	100.0	80.6	14.3	5.1
大内	304	293	6	5
	100.0	96.4	2.0	1.6
小斎	122	114	7	1
	100.0	93.4	5.7	0.8
館矢間	409	394	6	9
	100.0	96.3	1.5	2.2
大張	111	106	3	2
	100.0	95.5	2.7	1.8
耕野	106	96	5	5
	100.0	90.6	4.7	4.7
無回答	84	17	3	64
	100.0	20.2	3.6	76.2



問3-2. 現在のお住まいの状況を教えてください

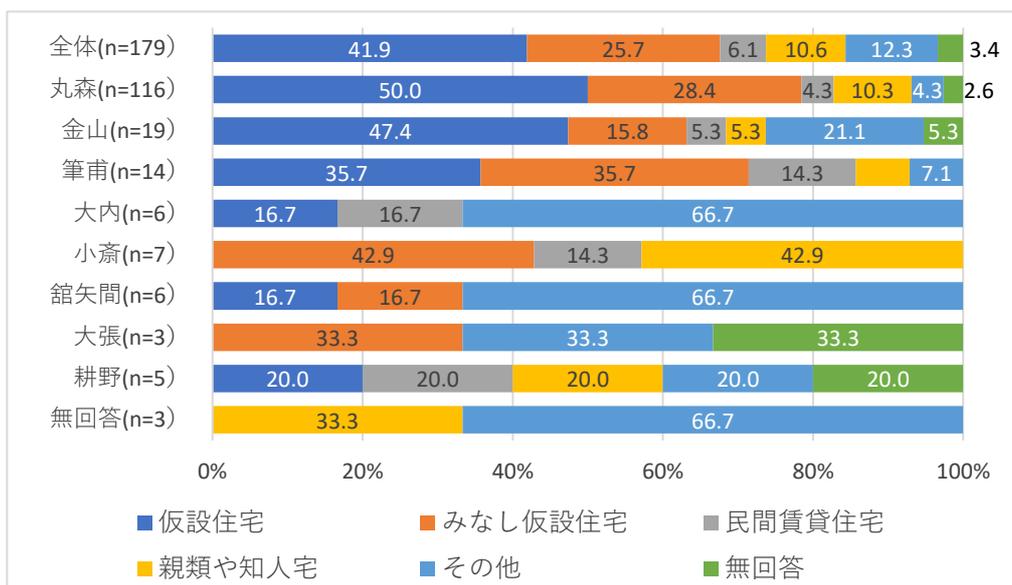
【台風以後別の住まいの住居形態】<SA>

・ 台風以後の別の住まいの住居形態は、全体で見ると「仮設住宅」が最も多く75人（41.9%）、次いで「みなし仮設住宅」が46人（25.7%）、「親類や知人宅」19人（10.6%）などとなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	仮設住宅	仮みなし住宅	民間賃貸住宅	知親人類宅や	その他	無回答
全体	179	75	46	11	19	22	6
	100.0	41.9	25.7	6.1	10.6	12.3	3.4
丸森	116	58	33	5	12	5	3
	100.0	50.0	28.4	4.3	10.3	4.3	2.6
金山	19	9	3	1	1	4	1
	100.0	47.4	15.8	5.3	5.3	21.1	5.3
筆甫	14	5	5	2	1	1	
	100.0	35.7	35.7	14.3	7.1	7.1	
大内	6	1		1		4	
	100.0	16.7		16.7		66.7	
小斎	7		3	1	3		
	100.0		42.9	14.3	42.9		
館矢間	6	1	1			4	
	100.0	16.7	16.7			66.7	
大張	3		1			1	1
	100.0		33.3			33.3	33.3
耕野	5	1		1	1	1	1
	100.0	20.0		20.0	20.0	20.0	20.0
無回答	3				1	2	
	100.0				33.3	66.7	



問3-3. お住まいの台風の被害の状況を教えてください<MA>

【被害の種類】

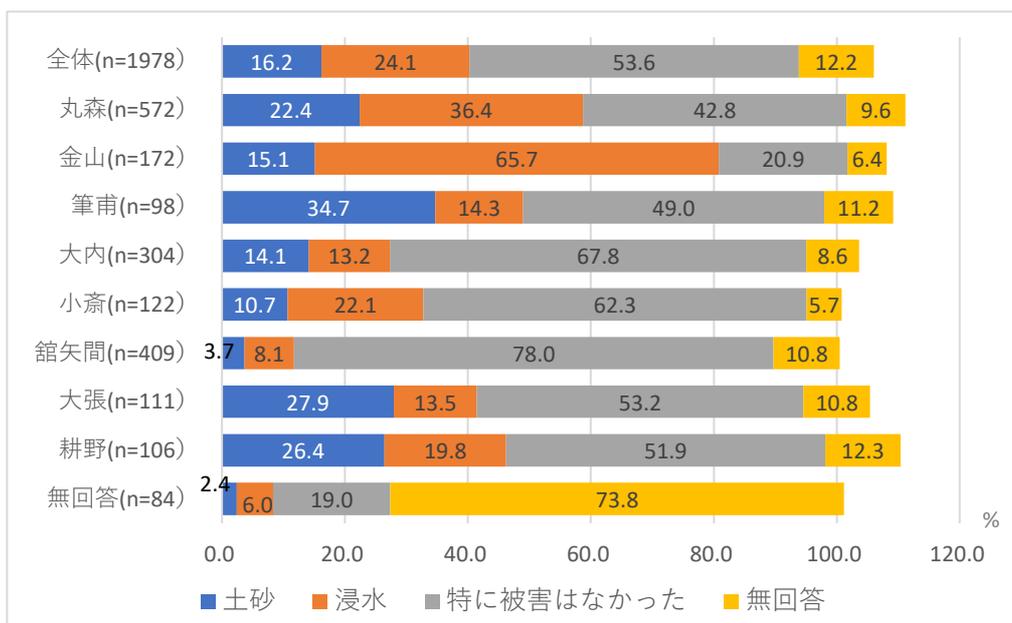
- ・ 台風の被害の種類について、全体で見ると「特に被害はなかった」が最も多く1,060人（53.6%）、次いで「浸水」476人（24.1%）、「土砂」320人（16.2%）となっています。
- ・ 地区別に見ると、「浸水」の被害は、特に丸森、金山、小斎の3地区で比率が高くなっており、「土砂」の被害は、筆甫、大張、耕野の3地区で比率が高くなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	(回答者数)	土砂	浸水	な特に被害は	無回答
全体	1,978	320	476	1,060	241
		16.2	24.1	53.6	12.2
丸森	572	128	208	245	55
		22.4	36.4	42.8	9.6
金山	172	26	113	36	11
		15.1	65.7	20.9	6.4
筆甫	98	34	14	48	11
		34.7	14.3	49.0	11.2
大内	304	43	40	206	26
		14.1	13.2	67.8	8.6
小斎	122	13	27	76	7
		10.7	22.1	62.3	5.7
館矢間	409	15	33	319	44
		3.7	8.1	78.0	10.8
大張	111	31	15	59	12
		27.9	13.5	53.2	10.8
耕野	106	28	21	55	13
		26.4	19.8	51.9	12.3
無回答	84	2	5	16	62
		2.4	6.0	19.0	73.8

※ 複数回答する設問の回答割合の算出に当たっては、分母を回答数ではなく回答者数としています。そのため、割合の合計が100%を超えています。



問3-3. お住まいの台風の被害の状況を教えてください

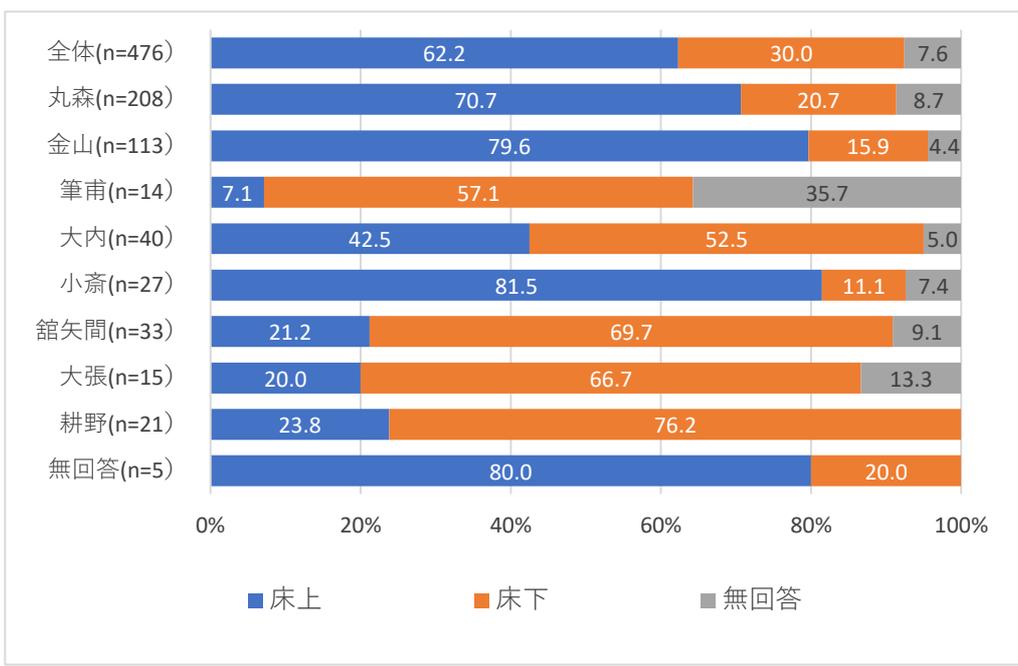
【浸水の状況】<SA>

- ・ 浸水の状況は、全体で見ると「床上」が296人（62.2%）、「床下」が143人（30.0%）となっています。
- ・ 地区別に見ると、特に丸森、金山、小斎の3地区は「床上」被害の比率が高くなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段：サンプル数、下段：%

	合計	床上	床下	無回答
全体	476	296	143	36
	100.0	62.2	30.0	7.6
丸森	208	147	43	18
	100.0	70.7	20.7	8.7
金山	113	90	18	5
	100.0	79.6	15.9	4.4
筆甫	14	1	8	5
	100.0	7.1	57.1	35.7
大内	40	17	21	2
	100.0	42.5	52.5	5.0
小斎	27	22	3	2
	100.0	81.5	11.1	7.4
館矢間	33	7	23	3
	100.0	21.2	69.7	9.1
大張	15	3	10	2
	100.0	20.0	66.7	13.3
耕野	21	5	16	
	100.0	23.8	76.2	
無回答	5	4	1	
	100.0	80.0	20.0	



問3-3. お住まいの台風の被害の状況を教えてください

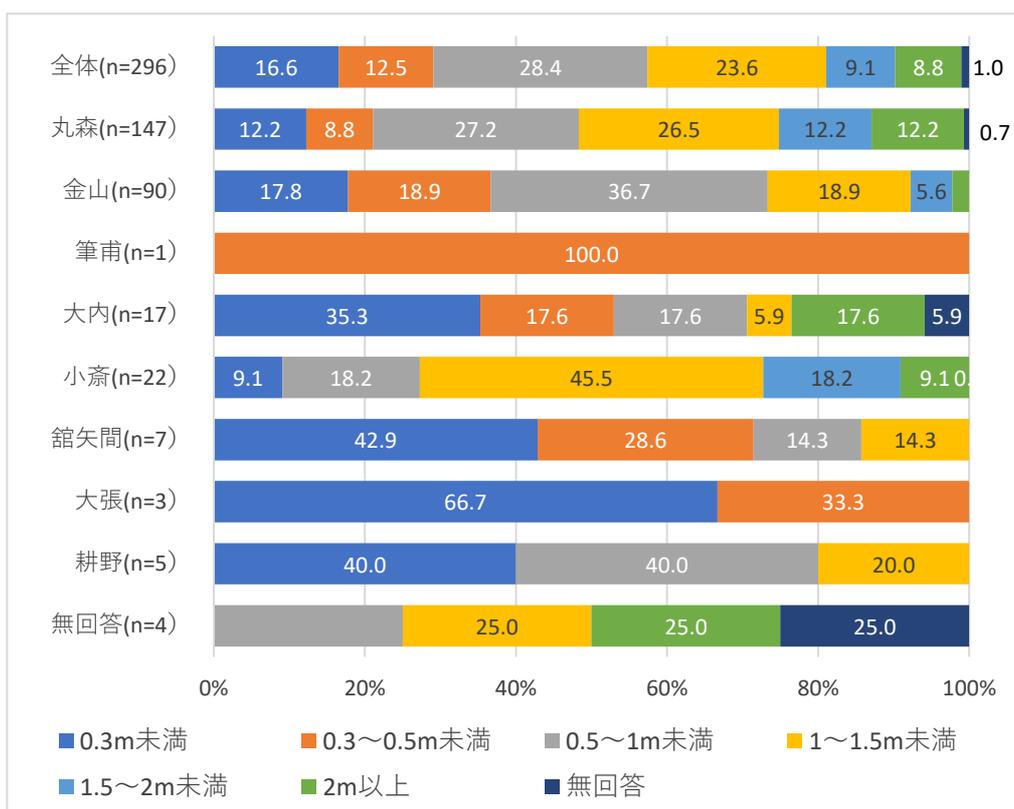
【床上浸水の水深】<SA>

- ・ 床上浸水の水深は、全体で見ると最も多いのが「0.5～1m未満」84世帯（30.1%）、次いで「1～1.5m未満」70世帯（23.6%）、「0.3m未満」49人（16.6%）などとなっており、浸水した世帯の約7割が0.5m以上の浸水深となっています。

【世帯代表のみ設問】

上段：サンプル数、下段：%

	合計	0.3m未満	0.3～0.5m未満	0.5～1m未満	1～1.5m未満	1.5～2m未満	2m以上	無回答
全体	296	49	37	84	70	27	26	3
	100.0	16.6	12.5	28.4	23.6	9.1	8.8	1.0
丸森	147	18	13	40	39	18	18	1
	100.0	12.2	8.8	27.2	26.5	12.2	12.2	0.7
金山	90	16	17	33	17	5	2	
	100.0	17.8	18.9	36.7	18.9	5.6	2.2	
筆甫	1		1					
	100.0		100.0					
大内	17	6	3	3	1		3	1
	100.0	35.3	17.6	17.6	5.9		17.6	5.9
小斎	22	2		4	10	4	2	
	100.0	9.1		18.2	45.5	18.2	9.1	
館矢間	7	3	2	1	1			
	100.0	42.9	28.6	14.3	14.3			
大張	3	2	1					
	100.0	66.7	33.3					
耕野	5	2		2	1			
	100.0	40.0		40.0	20.0			
無回答	4			1	1		1	1
	100.0			25.0	25.0		25.0	25.0



問3-3. お住まいの台風の被害の状況を教えてください

【被害の規模】<SA>

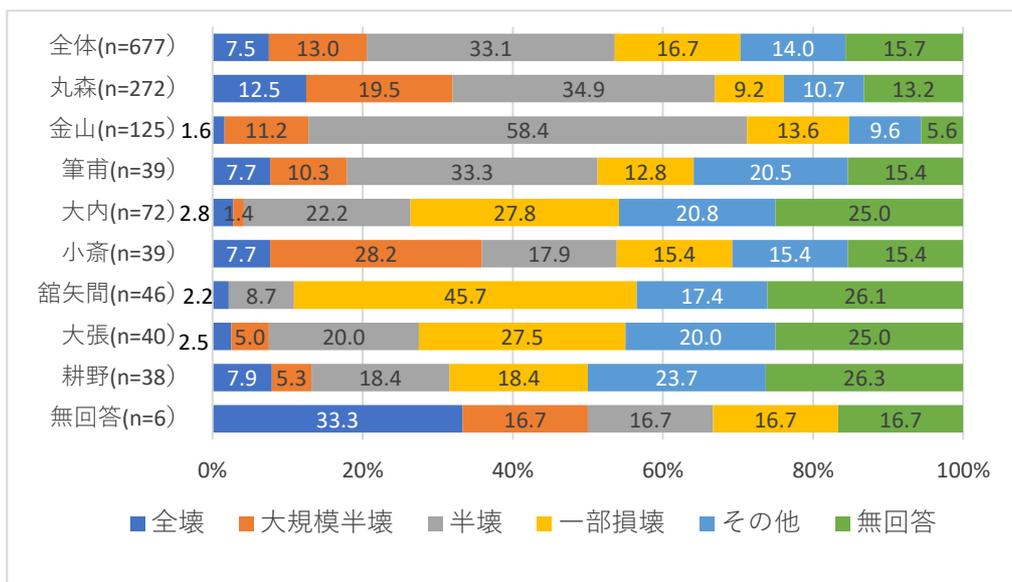
- 被害規模は、全体で見ると「半壊」が最も多く224世帯（33.1%）、次いで「一部損壊」113世帯（16.7%）、「大規模半壊」88世帯（13.0%）などとなっています。
- 地区別に見ると、「全壊」は丸森地区、「大規模半壊」は小斎地区で比率が高くなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段：サンプル数、下段：%

	合計	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	その他	無回答
全体	677	51	88	224	113	95	106
	100.0	7.5	13.0	33.1	16.7	14.0	15.7
丸森	272	34	53	95	25	29	36
	100.0	12.5	19.5	34.9	9.2	10.7	13.2
金山	125	2	14	73	17	12	7
	100.0	1.6	11.2	58.4	13.6	9.6	5.6
筆甫	39	3	4	13	5	8	6
	100.0	7.7	10.3	33.3	12.8	20.5	15.4
大内	72	2	1	16	20	15	18
	100.0	2.8	1.4	22.2	27.8	20.8	25.0
小斎	39	3	11	7	6	6	6
	100.0	7.7	28.2	17.9	15.4	15.4	15.4
館矢間	46	1		4	21	8	12
	100.0	2.2		8.7	45.7	17.4	26.1
大張	40	1	2	8	11	8	10
	100.0	2.5	5.0	20.0	27.5	20.0	25.0
耕野	38	3	2	7	7	9	10
	100.0	7.9	5.3	18.4	18.4	23.7	26.3
無回答	6	2	1	1	1		1
	100.0	33.3	16.7	16.7	16.7		16.7

※ 合計は、「問3-3 被害の種類」における「土砂」ならびに「浸水」の回答者数です。



問3-4. これからの住まいについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか
 <SA>

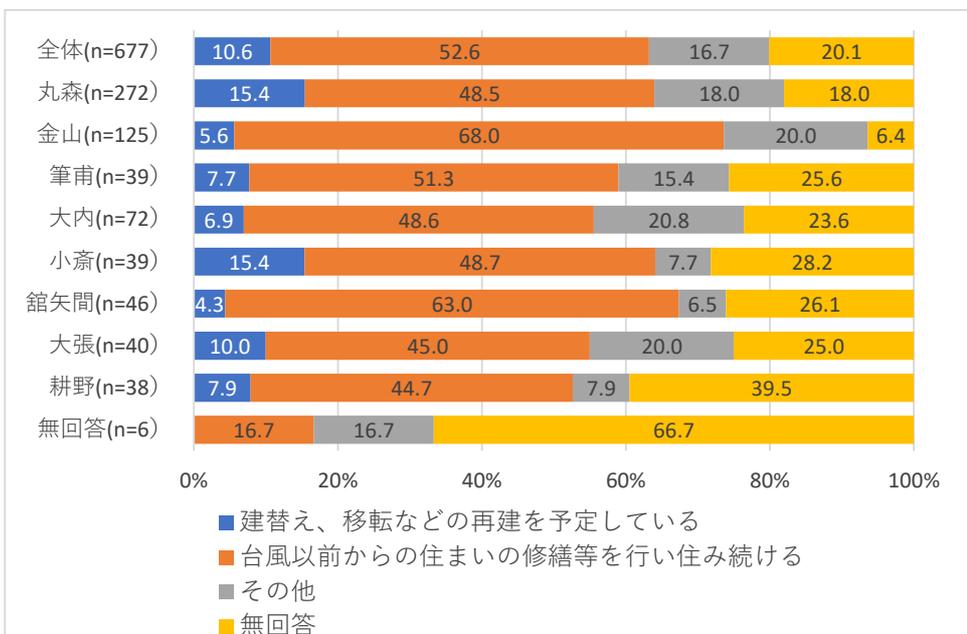
- ・ これからの住まいについての考えは、全体で見ると「台風以前からの住まいの修繕等を行い住み続ける」が356世帯（52.6%）、「建替え、移転などの再建を予定している」が72世帯（10.6%）となっています。
- ・ 地区別に見ると、丸森、小斎、大張の3地区で「建替え、移転などの再建を予定している」の比率が他地区に比べて高くなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	再建替えを予定し、移転などを行うの	台風以前からの修繕等を行い住み続ける	その他	無回答
全体	677 100.0	72 10.6	356 52.6	113 16.7	136 20.1
丸森	272 100.0	42 15.4	132 48.5	49 18.0	49 18.0
金山	125 100.0	7 5.6	85 68.0	25 20.0	8 6.4
筆甫	39 100.0	3 7.7	20 51.3	6 15.4	10 25.6
大内	72 100.0	5 6.9	35 48.6	15 20.8	17 23.6
小斎	39 100.0	6 15.4	19 48.7	3 7.7	11 28.2
館矢間	46 100.0	2 4.3	29 63.0	3 6.5	12 26.1
大張	40 100.0	4 10.0	18 45.0	8 20.0	10 25.0
耕野	38 100.0	3 7.9	17 44.7	3 7.9	15 39.5
無回答	6 100.0		1 16.7	1 16.7	4 66.7

※ 合計は、「問3-3 被害の種類」における「土砂」ならびに「浸水」の回答者数です。



問4. お住まいの再建について、現時点であなたの考えに近いものをお答え下さい

●調査票（世帯代表）

問4. お住まいの再建について、現時点でのあなたの考えに近いものをお答えください。

問4-1. お住いの再建をどのように進めたいと考えていますか。

（1つに○をつけてください）

1. 台風以前から住んでいる同じ場所で建て替えたい
2. 台風以前に住んでいた場所以外の地区内で、個人で再建したい
3. 台風以前に住んでいた場所以外の地区内で、集団で再建したい
4. 台風以前に住んでいた地区外（丸森町内）で、個人で再建したい
（具体的な場所： _____)
5. 台風以前に住んでいた地区外（丸森町内）で、集団で再建したい
（具体的な場所： _____)
6. 丸森町内の公営住宅に住みたい
7. 丸森町内の民間住宅・アパートを賃貸し、住みたい
8. 丸森町外に住みたい（住宅再建・賃貸）
9. わからない
10. その他（具体的に： _____)

問4-2. いつまでにお住まいを再建したいとお考えですか。（1つに○をつけてください）

1. 1年以内
2. 2年以内
3. 5年以内
4. 10年以内
5. その他（ _____)

問4-3. お住まいの再建場所を決めるうえで、重視する条件は何ですか。

（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. 通勤・通学
2. 教育環境
3. 買い物や医療等の生活環境
4. 公共施設（役場やまちづくりセンター等）
5. 鉄道やバス等の公共交通
6. 町内会や近所付き合いの良さ
7. 防災・防犯面での安全・安心
8. わからない
9. その他（ _____)

問4-4. これからお住まいを再建するにあたり、課題や不安に感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. 特に課題や不安はない（資金や土地・住居確保の見通しが立っているなど）
2. 再建のための資金に不安があること
3. 住宅ローンが残っていること
4. 再建を予定する土地が確保できるかわからないこと
5. 予定する土地が災害時に安全に住めるかわからないこと
6. 予定する期間内に住宅の建築業者が見つかるか不安があること
7. 新しい居住地の環境になじめるか不安があること
8. 所有している農地等から離れてしまうこと
9. 今まで居住してきた住宅・土地の処分や管理に関すること
10. その他（具体的に： _____)

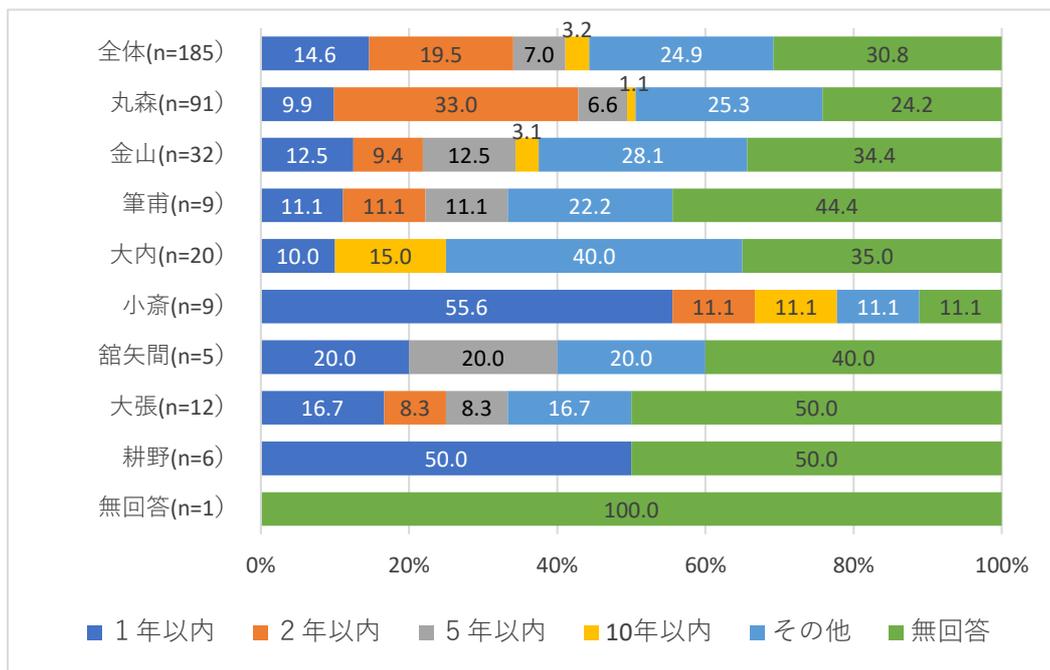
問4-2. いつまでにお住まいを再建したいとお考えですか<SA>

・全体を見ると、住まいの再建時期で最も多いのは「2年以内」36世帯（19.5%）で、次いで「1年以内」27世帯（14.6%）、「5年以内」13世帯（7.0%）などとなっています。

【世帯代表のみ設問】

上段: サンプル数、下段: %

	合計	1年以内	2年以内	5年以内	10年以内	その他	無回答
全体	185	27	36	13	6	46	57
	100.0	14.6	19.5	7.0	3.2	24.9	30.8
丸森	91	9	30	6	1	23	22
	100.0	9.9	33.0	6.6	1.1	25.3	24.2
金山	32	4	3	4	1	9	11
	100.0	12.5	9.4	12.5	3.1	28.1	34.4
筆甫	9	1	1	1		2	4
	100.0	11.1	11.1	11.1		22.2	44.4
大内	20	2			3	8	7
	100.0	10.0			15.0	40.0	35.0
小斎	9	5	1		1	1	1
	100.0	55.6	11.1		11.1	11.1	11.1
館矢間	5	1		1		1	2
	100.0	20.0		20.0		20.0	40.0
大張	12	2	1	1		2	6
	100.0	16.7	8.3	8.3		16.7	50.0
耕野	6	3					3
	100.0	50.0					50.0
無回答	1						1
	100.0						100.0



問5. あなたが復旧・復興において重要と考えている取り組みについてお聞きします

<MA>

●調査票（世帯代表、世帯員 共通）

問5. あなたが復旧・復興において重要と考えている取り組みについてお聞きします。
丸森町復旧・復興基本方針には、下記（１）～（３）の「復興のポイント」があります。
「復興のポイント」ごとに重要と思うものはどれですか。それぞれ3つまで番号を記入
のうえ、それらについてご提案、ご意見などがありましたら記入欄にお書きください。

（１）安らぎのある暮らしの再建

- ①被災者の生活環境の確保
- ②安心して暮らすことのできる住まいの再建
- ③地域コミュニティの再構築
- ④保健・医療・福祉の充実
- ⑤被災者及び児童の心と身体のケア
- ⑥被災した学校教育施設などの復旧
- ⑦公共交通機関の早期復旧
- ⑧生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
- ⑨災害廃棄物・堆積土砂の早期撤去
- ⑩その他



番号 (①～⑩)	関連するご提案、ご意見等 (例: ○○について、○○を優先すべきと思う。)

（２）災害に強く魅力あふれるまちの創造

- ①防災体制の強化
- ②自助・共助を育む防災教育と人材の育成
- ③上下水道などのライフライン復旧
- ④道路・橋梁等の復旧・機能強化
- ⑤河川の復旧・被害を繰り返さないための治水
- ⑥内水氾濫を防ぐための対策強化
- ⑦治山による安全・安心の確保
- ⑧その他



番号 (①～⑧)	関連するご提案、ご意見等 (例: ○○について、○○を優先すべきと思う。)

（３）活気あふれる産業・なりわいの再建

- ①魅力ある農業・林業の再建
- ②活気あふれる商工業の再建
- ③国内外からの観光客の誘致
- ④雇用の維持・創出
- ⑤新たな産業の創出
- ⑥その他



番号 (①～⑥)	関連するご提案、ご意見等 (例: ○○について、○○を優先すべきと思う。)

(1)安らぎのある暮らしの再建

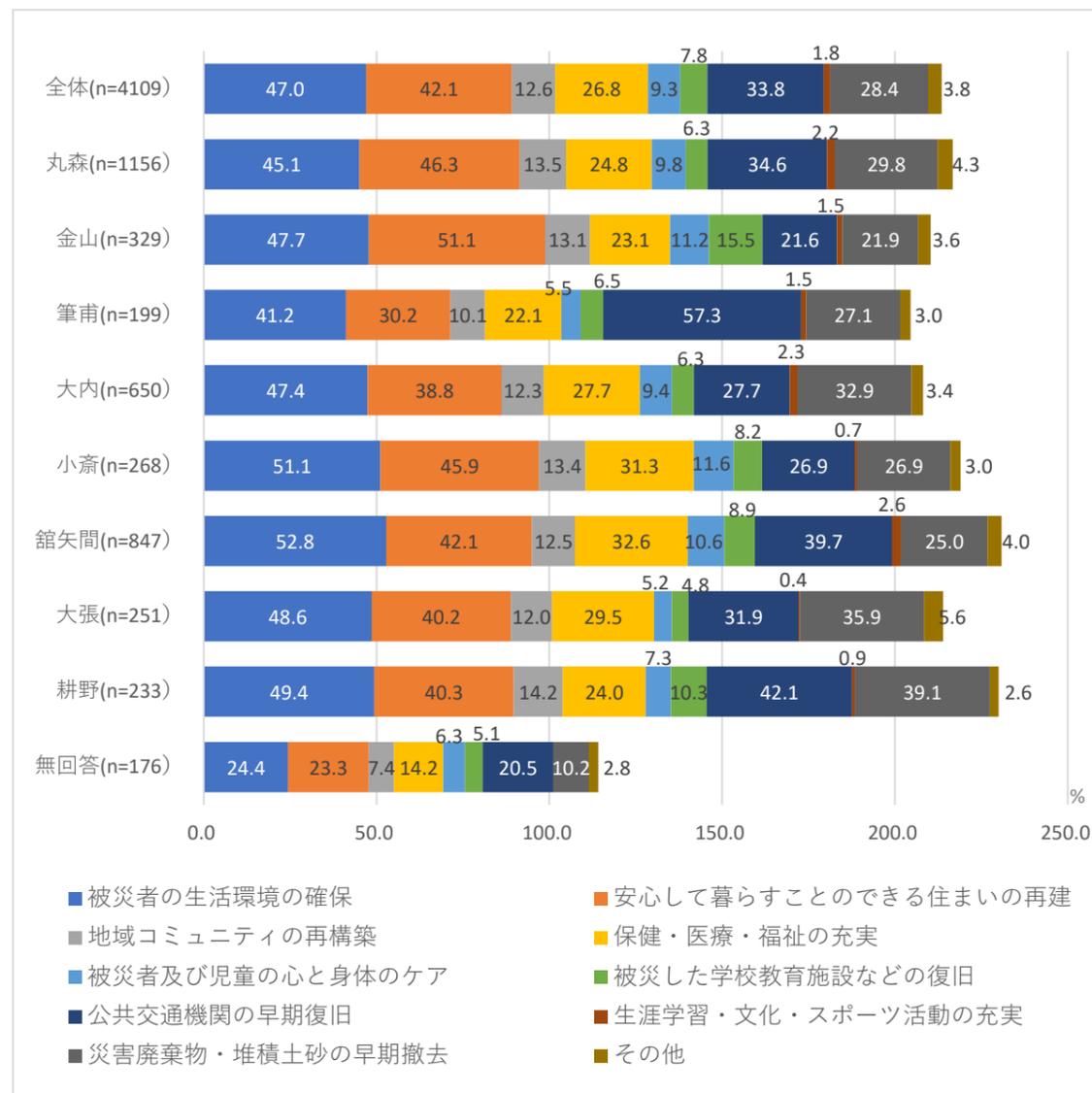
・ 安らぎのある暮らしの再建については、全体で見ると、最も多いのが「被災者の生活環境の確保」1,932人（47.0%）で、次いで「安心して暮らすことのできる住まいの再建」1,731人（42.1%）、「公共交通機関の早期復旧」1,387人（33.8%）、「災害廃棄物・堆積土砂の早期撤去」1,167人（28.4%）などとなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段：サンプル数、下段：%

	回答者数 (合計)	被災者の生活環境の確保	安心して暮らすことのできる住まいの再建	地域コミュニティの再構築	保健・医療・福祉の充実	被災者及び児童の心と身体のケア	被災した学校教育施設などの復旧	公共交通機関の早期復旧	生涯学習・文化・スポーツ活動の充実	災害廃棄物・堆積土砂の早期撤去	その他
全体	4,109	1,932	1,731	517	1,102	384	320	1,387	76	1,167	157
		47.0	42.1	12.6	26.8	9.3	7.8	33.8	1.8	28.4	3.8
丸森	1,156	521	535	156	287	113	73	400	26	344	50
		45.1	46.3	13.5	24.8	9.8	6.3	34.6	2.2	29.8	4.3
金山	329	157	168	43	76	37	51	71	5	72	12
		47.7	51.1	13.1	23.1	11.2	15.5	21.6	1.5	21.9	3.6
筆甫	199	82	60	20	44	11	13	114	3	54	6
		41.2	30.2	10.1	22.1	5.5	6.5	57.3	1.5	27.1	3.0
大内	650	308	252	80	180	61	41	180	15	214	22
		47.4	38.8	12.3	27.7	9.4	6.3	27.7	2.3	32.9	3.4
小斎	268	137	123	36	84	31	22	72	2	72	8
		51.1	45.9	13.4	31.3	11.6	8.2	26.9	0.7	26.9	3.0
館矢間	847	447	357	106	276	90	75	336	22	212	34
		52.8	42.1	12.5	32.6	10.6	8.9	39.7	2.6	25.0	4.0
大張	251	122	101	30	74	13	12	80	1	90	14
		48.6	40.2	12.0	29.5	5.2	4.8	31.9	0.4	35.9	5.6
耕野	233	115	94	33	56	17	24	98	2	91	6
		49.4	40.3	14.2	24.0	7.3	10.3	42.1	0.9	39.1	2.6
無回答	176	43	41	13	25	11	9	36		18	5
		24.4	23.3	7.4	14.2	6.3	5.1	20.5	10.2	2.8	

※ 複数回答する設問の回答割合の算出に当たっては、分母を回答数ではなく回答者数としています。そのため、割合の合計が100%を超えています。



(1)安らぎのある暮らしの再建（関連する提案・意見等）

・ ①～⑩までの項目のうち重要と考えている方の割合が高い項目について、関連する提案、意見として寄せられたものを分類し、その件数とともに多い意見を要約したものを抜粋して整理します。

項目	件数	主な意見 ()内の数値は件数
①被災者の生活環境の確保		
生活・環境	163	・ 優先的な被災者の生活再建 (74) ・ 安心できる生活環境 (23)
仮設住宅	32	・ 仮設住宅を出た後も支援の継続 (17) ・ 仮設住宅に暮らす方のサポートの充実 (6)
復興住宅・町営住宅	25	・ 安心できる場所に復興住宅・町営住宅の整備 (10) ・ 復興住宅・町営住宅の早期整備 (6)
②安心して暮らすことのできる住まいの再建		
住いの再建	85	・ 住宅の再建を早期に進めて欲しい (13) ・ 安全な場所に住宅 (12)
安心安全	65	・ 安心して暮らせる場所が必要である (55) ・ 地域コミュニティの形成 (3)
水害	54	・ 河川堤防の復旧、嵩上げ (11) ・ 内水対策の充実 (7)
④保健・医療・福祉の充実		
病院	84	・ 丸森病院の維持継続、施設の充実 (47) ・ 病院が被災しないよう対策の充実 (6)
医療	47	・ 身近な場所で医療を受けられるように (16) ・ どんな時でも安心して受診できる体制づくり (3)
高齢者	28	・ 高齢者が安心して暮らせる医療・福祉 (17) ・ 高齢者の一人暮らしのサポート (3)
⑦公共交通機関の早期復旧		
阿武隈急行・鉄道(電車)	212	・ 阿武隈急行の早期復旧 (169) ・ 阿武隈急行の本数を増やす (18)
道路	99	・ 国道・県道、生活道路の早期復旧 (45) ・ 道路の復旧 (10)
公共交通機関	85	・ 通勤・通学のための公共交通機関の復旧 (43) ・ 生活、活性化に必要なもの (23)
⑨災害廃棄物・堆積土砂の早期撤去		
堆積土砂	159	・ 川や側溝などの堆積土砂の撤去 (98) ・ 田畑に堆積した土砂の撤去 (34)
災害廃棄物・ゴミ	93	・ 災害廃棄物の早期撤去 (23) ・ 稲わら、流木などの撤去 (7)
道路	29	・ 道路の早期復旧 (15) ・ 道路沿いの流木などの撤去 (6)

(2)災害に強く魅力あふれるまちの創造<MA>

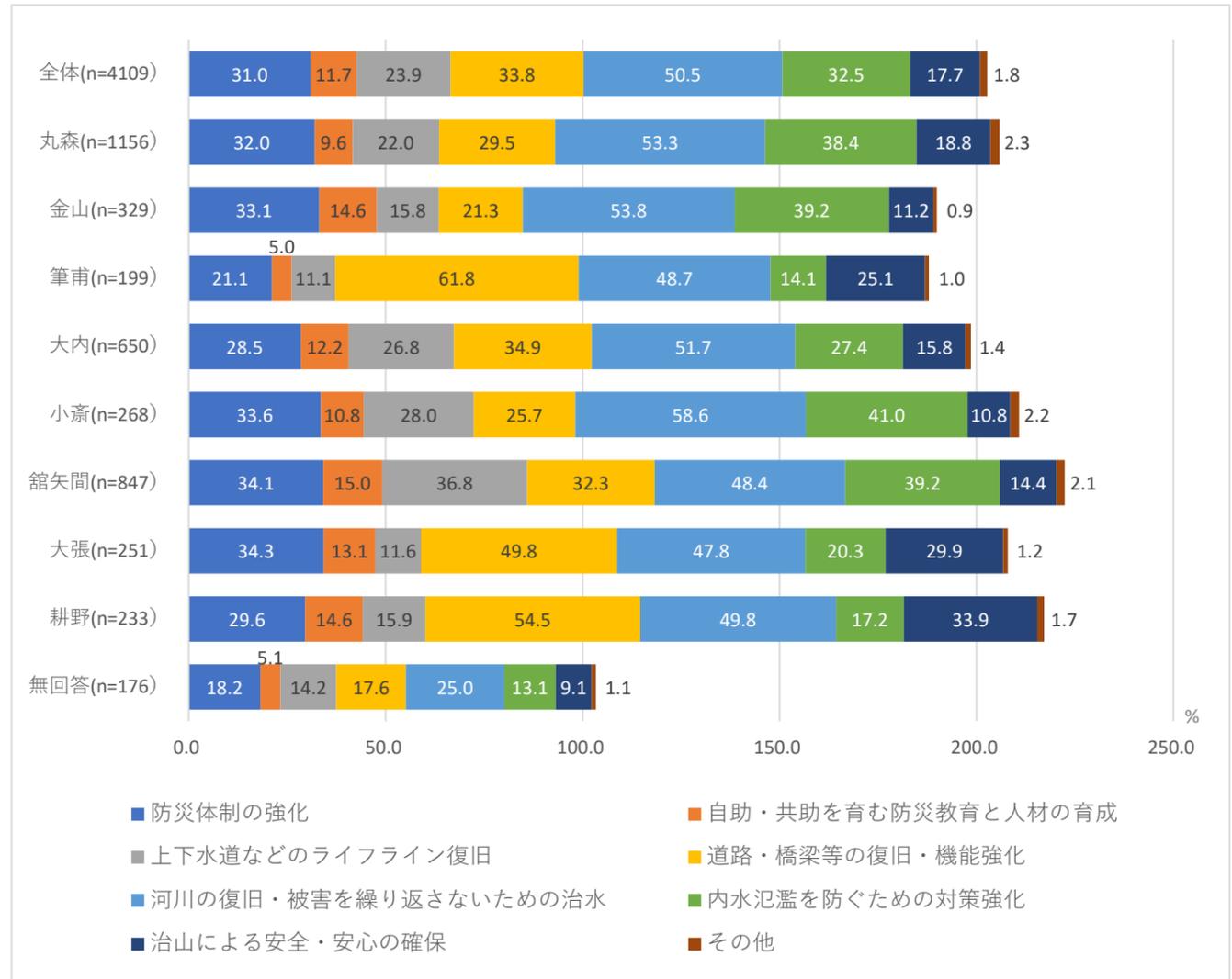
・ 災害に強く魅力あふれるまちの創造については、全体で見ると、最も多いのが「河川の復旧・被害を繰り返さないための治水」2,073人（50.5%）、次いで「道路・橋梁等の復旧・機能強化」1,387人（33.8%）、「内水氾濫を防ぐための対策強化」1,335人（32.5%）などとなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

上段: サンプル数、下段: %

	回答者数 (合計)	防災体制の強化	自助・共助を育む防災教育と人材の育成	上下水道などのライフライン復旧	道路・橋梁等の復旧・機能強化	河川の復旧・被害を繰り返さないための治水	内水氾濫を防ぐための対策強化	治山による安全・安心の確保	その他
全体	4,109	1,272	480	980	1,387	2,073	1,335	728	74
		31.0	11.7	23.9	33.8	50.5	32.5	17.7	1.8
丸森	1,156	370	111	254	341	616	444	217	27
		32.0	9.6	22.0	29.5	53.3	38.4	18.8	2.3
金山	329	109	48	52	70	177	129	37	3
		33.1	14.6	15.8	21.3	53.8	39.2	11.2	0.9
筆甫	199	42	10	22	123	97	28	50	2
		21.1	5.0	11.1	61.8	48.7	14.1	25.1	1.0
大内	650	185	79	174	227	336	178	103	9
		28.5	12.2	26.8	34.9	51.7	27.4	15.8	1.4
小斎	268	90	29	75	69	157	110	29	6
		33.6	10.8	28.0	25.7	58.6	41.0	10.8	2.2
館矢間	847	289	127	312	274	410	332	122	18
		34.1	15.0	36.8	32.3	48.4	39.2	14.4	2.1
大張	251	86	33	29	125	120	51	75	3
		34.3	13.1	11.6	49.8	47.8	20.3	29.9	1.2
耕野	233	69	34	37	127	116	40	79	4
		29.6	14.6	15.9	54.5	49.8	17.2	33.9	1.7
無回答	176	32	9	25	31	44	23	16	2
		18.2	5.1	14.2	17.6	25.0	13.1	9.1	1.1

※ 複数回答する設問の回答割合の算出に当たっては、分母を回答数ではなく回答者数としています。そのため、割合の合計が100%を超えています。



(2)災害に強く魅力あふれるまちの創造（関連する提案・意見等）

- ①～⑧までの項目のうち重要と考えている方の割合が高い項目について、関連する提案、意見として寄せられたものを分類し、その件数とともに多い意見を要約したものを抜粋して整理します。

項目	件数	主な意見 ()内の数値は件数
①防災体制の強化		
防災体制・復興	131	<ul style="list-style-type: none"> 防災体制の強化、訓練の実施 (31) 災害の危険なところの見える化 (7)
情報・防災放送	63	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に防災放送が聞こえない (38) 各家庭、個人で受信できるシステム導入 (19)
避難・避難所	45	<ul style="list-style-type: none"> 安全な避難場所の確保 (16) 避難所の見直し (5)
④道路・橋梁等の復旧・機能強化		
道路	167	<ul style="list-style-type: none"> 道路の復旧 (54) 国道・県道、生活道路の早期復旧 (36)
復旧	34	<ul style="list-style-type: none"> 現状復旧だけでなく強固な改良 (7) 優先順位を付けた取組み (3)
道路・橋梁	26	<ul style="list-style-type: none"> 復旧と機能強化 (11) 災害に強い道路・橋梁の整備 (3)
⑤河川の復旧・被害を繰り返さないための治水		
堆積土砂・川底	118	<ul style="list-style-type: none"> 河川川底の土砂の撤去 (97) 河川の石、樹木などの撤去 (3)
河川氾濫対策	117	<ul style="list-style-type: none"> 治水対策 (53) 堤防の嵩上げ、強化 (48)
⑥内水氾濫を防ぐための対策強化		
排水機能の強化	66	<ul style="list-style-type: none"> 排水ポンプの機能強化 (40) 災害に強い排水ポンプ (5)
設備	24	<ul style="list-style-type: none"> 大型揚水機の設置 (11) 貯水池、排水路の拡充 (5)

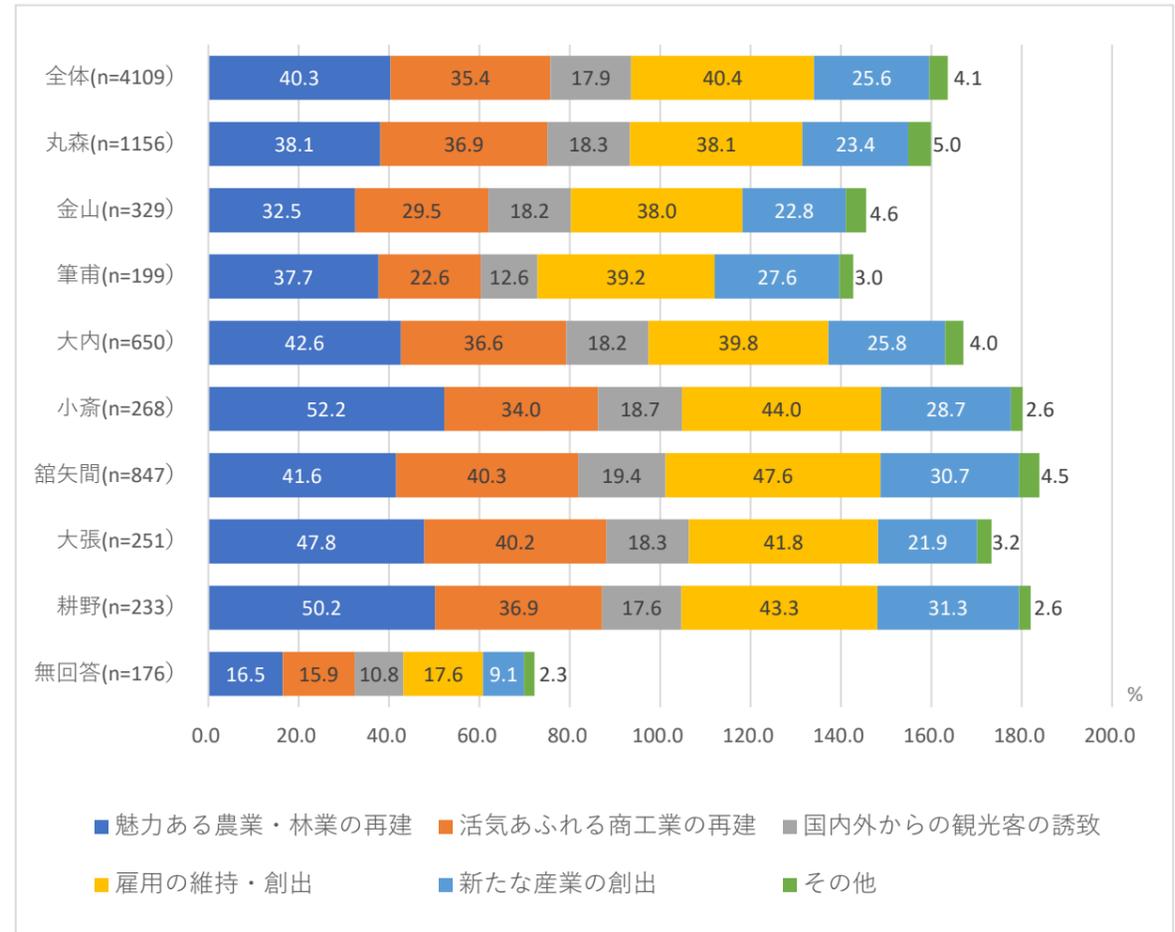
(3) 活気あふれる産業・なりわいの再建<MA>

・ 活気あふれる産業・なりわいの再建については、全体で見ると、最も多いのが「雇用の維持・創出」1,661人(40.4%)で、次いで「魅力ある農業・林業の再建」1,657人(40.3%)、「活気あふれる商工業の再建」1,454人(35.4%)、「新たな産業の創出」1,050人(25.6%)などとなっています。

【世帯代表、世帯員 共通設問】

	回答者数 (合計)	上段: サンプル数、下段: %					
		魅力ある農業・林業の再建	活気あふれる商工業の再建	国内外からの観光客の誘致	雇用の維持・創出	新たな産業の創出	その他
全体	4,109	1,657	1,454	735	1,661	1,050	168
		40.3	35.4	17.9	40.4	25.6	4.1
丸森	1,156	440	427	212	441	271	58
		38.1	36.9	18.3	38.1	23.4	5.0
金山	329	107	97	60	125	75	15
		32.5	29.5	18.2	38.0	22.8	4.6
筆甫	199	75	45	25	78	55	6
		37.7	22.6	12.6	39.2	27.6	3.0
大内	650	277	238	118	259	168	26
		42.6	36.6	18.2	39.8	25.8	4.0
小斎	268	140	91	50	118	77	7
		52.2	34.0	18.7	44.0	28.7	2.6
館矢間	847	352	341	164	403	260	38
		41.6	40.3	19.4	47.6	30.7	4.5
大張	251	120	101	46	105	55	8
		47.8	40.2	18.3	41.8	21.9	3.2
耕野	233	117	86	41	101	73	6
		50.2	36.9	17.6	43.3	31.3	2.6
無回答	176	29	28	19	31	16	4
		16.5	15.9	10.8	17.6	9.1	2.3

※ 複数回答する設問の回答割合の算出に当たっては、分母を回答数ではなく回答者数としています。そのため、割合の合計が100%を超えています。



(3) 活気あふれる産業・なりわいの再建（関連する提案・意見等）

- ①～⑥までの項目のうち重要と考えている方の割合が高い項目について、関連する提案、意見として寄せられたものを分類し、その件数とともに多い意見を要約したものを抜粋して整理します。

項目	件数	主な意見 () 内の数値は件数
①魅力ある農業・林業の再建		
農業・林業の再建	109	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある農業・林業の再建 (85) 経営組織力の強化 (10)
農地	75	<ul style="list-style-type: none"> 田畑の早期復旧 (42) 耕作放棄地の解消、圃場の大規模化 (3)
農産物・特産物	48	<ul style="list-style-type: none"> 新たな特産品の開発 (32) 販路の拡大、PRの充実 (10)
②活気あふれる商工業の再建		
活気	42	<ul style="list-style-type: none"> 活気づくようにしてほしい (32) イベントや祭りの開催 (4)
商店街	35	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の賑わいの復活 (21) 地元の人が買いたいと思う店づくり (6)
観光・特産品	23	<ul style="list-style-type: none"> 手工芸などの地場製品の充実 (11) 既存観光施設の魅力化 (4)
④雇用の維持・創出		
雇用	65	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の維持・創出 (42) 雇用条件などの就業環境の改善 (6)
働く場	43	<ul style="list-style-type: none"> 町内での働く場所の確保 (36) 自然などを活かした新たな産業の創出 (2)
若者	41	<ul style="list-style-type: none"> 若者が残って働きたいと思える就業環境 (35) 工場や企業の誘致 (3)
⑤新たな産業の創出		
産業	53	<ul style="list-style-type: none"> 丸森の地域資源を活かした新たな産業 (12) 時代に即した産業の創出 (10)
企業誘致・働く場	27	<ul style="list-style-type: none"> 町外からの企業誘致 (24) 起業家への支援 (2)
若者	24	<ul style="list-style-type: none"> 若い人たちの雇用につながる産業 (15) 若い人が働きたいと思える産業の調査研究 (5)

問6 今回の災害からの復旧・復興について、あなたが期待すること、望むことなどがあれば、お書き下さい

●調査票（世帯代表、世帯員 共通）

問6. 今回の災害からの復旧・復興について、あなたが期待すること、望むことなどがあれば、お書きください。



問6 今回の災害からの復旧・復興について期待すること、望むこと【自由記入】

・寄せられた復旧・復興に期待すること、望むことについて、38項目のキーワードで分類した主な意見の内容を抜粋し、またそれらの件数についてまとめます。

項目 (キーワード)	主な意見内容	件数 (世帯主、世帯員)
1 安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> 被災した土地は元に戻すだけでなく、安心、安全に暮らせるよう対策してほしい。 また台風が来たとき同じ事を繰り返さない様にして欲しい。安心して暮らせる町づくりを期待しています。 	(22, 30)
2 助け合い	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑の輝くまち丸森。丸森町が人々の笑顔であふれ、助け合い精神が強い人が育つようになればと思います。 人は「誰かのために役立ちたい」誰も心の中に持っています。若い人たちと話し合いの場を持ち、意見を取り入れて、支え合い助け合いの地域をつくって行きたい。 	(8, 11)
3 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 仮設に入るに地域の方とバラバラにされ、ただでさえ不安だらけになったのに人間関係も不安が増え救われません。地域コミュニティごとの移住も優先順位の1つだと思えます。 人口減少や高齢化の進行等ですと、将来的な安全安心な場所に住環境を整え集めた地域コミュニティを図り、効率よい行政サービスを行うコンパクトシティ化を図る考えもあると思う。 	(6, 9)
4 ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> 今後、災害が起きた時、ライフラインの早期復旧、水害による役場、消防署の機能停止を回避できるような対策をしてほしい。 今後の人口減少、ライフラインの老朽化を考えれば、住居地域の限定、集中化によって将来のインフラ整備をセーブしていく方向に行かないと立ちいかなくなるのではないか。この機会に新しい居住区を作り、そこをだんだん広げて行ったらいいと思います。 	(18, 13)
5 生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の再建が最重要。丸森町内に住みつけたいと思える環境づくりを！ 被災者の一日も早い生活再建、町内での暮らし再建。 	(8, 5)
6 防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> また、次も同じような台風が来るだろうと想定した上で、考えていくことが必要だろうと思います。 地球温暖化がどこまで進むのか。それによって気候変動がもたらす災害はどこまで拡大するのか。だれも予測できない。当面は台風19号レベルに対応できる対策が求められるものの、それを上回る自然災害が発生するかもしれない。従って防災・減災が極めて重要になる。 	(43, 36)
7 復旧復興	<ul style="list-style-type: none"> 「災い転じて福」としたい。衰退する町の再生をみんなで考える好機にしたい。 台風の経路が完全に変わってきている。その背景にあるのは温暖化だと思う。今回の19号と同等の台風が来るという前提でハード面、ソフト面両方に対応する必要がある。各個人が防災に対する認識を再度見直し、地区又は町単位全員で一定方向を見て復旧・復興する必要がある。 	(93, 61)
8 伝承	<ul style="list-style-type: none"> 今回の災害は町の歴史以来最大のもので将来の教訓となるようにその実態と対応を残し、次の世代にも引き継いでいくことが災害を体験した町民の義務であると考えています。 冠水した主な箇所に最高水位表示板（柱）などを建てたり、被災内容を記録した石碑などを建立し、この大災害を後世に伝え残すべきだ。天皇陛下皇后陛下が災害見舞のため来町された記念碑建立も、後々への言い伝えの材料となる。 	(7, 3)
9 避難・避難所	<ul style="list-style-type: none"> 災害避難所の再検討をお願いしたい。現状は、避難所に行こうにも道路が増水していて行けなかった。高台に設定して欲しい。 高齢世帯が多くなる中で、いかに移動手段のない人達を避難場所へ避難させるかが重要になると感じた。 	(37, 32)

10 情報・連絡	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが個々に担当課に赴き聞くと、バラバラな方向性が発生するので、区長を通じて適切な判断を望む。 テレビで流れるニュースを見ているだけで怖くて動けませんでした。1人の生活なので災害の時はどうしたらよいか困っていますので、自治会の方とか役場の方々の声掛けを期待します。 	(44, 46)
11 仮設住宅	<ul style="list-style-type: none"> 仮設住宅1人用は狭く寝る事出来ません（こたつあるので）。できるなら公営住宅は1人用でも2部屋が有る様に。 今、大館仮設に300人の人がいる。このさき2年めどに仮設住宅を出ないとダメ。どこに行けばいいのかまだ解らない。 	(5, 6)
12 公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の再建ができない人も多いと思いますので安全な場所への町営住宅または災害公営住宅の早期着工を進めていかないと仮設住宅、みなし仮設等に入っている人達は町外に出ていくことになる。 仮設に入居の方が安心して住める公営住宅の建設を早期にお願いしたいと思います。 	(11, 6)
13 河川対策	<ul style="list-style-type: none"> 何度も川の氾濫、崩落を見てきましたが、修復は現状維持だけの工事を繰り返すだけです。強靱な国土づくりで、何度も破壊され町民に心配されないように願うばかりです。 内水氾濫を防ぐための対策を強化してもらわないといけない地域ですので国の支援なくしては丸森町だけでは、難しい問題だと思います。安心安全な丸森町にしてほしいです。 	(34, 24)
14 山・森・林	<ul style="list-style-type: none"> 雨は直接地面に当たると土くれを砕くと。町名に丸森と冠している本町は、名は体を表すと、まずは豊かな森の建設をお願いしたい。 災害が大きくなった要因の一つに森林の乱開発と放置によるものがあるのではないかと思います。伐採跡にはやはり植林(広葉樹)とかも考慮し積極的に進めるべきかと思います。 	(12, 5)
15 水害	<ul style="list-style-type: none"> これからも同様の台風、雨が降るようになると考えます。ワンランク上の対策が必要と考えます。 水害に強い町づくりをしないと産業の創出及び若者定住もない。丸森町に企業進出は期待できないので、角田市と共同で考えてもらいたい。 	(34, 5)
16 土砂	<ul style="list-style-type: none"> 土砂が堆積しているため、台風19号で以前よりさらに災害が起きやすい河川の状況になっている。早急に川底を掘る、排水ポンプを設置する等対応していただきたい。 水田、道路の土砂、材木の撤去や1日も早く元の生活に戻れるように町内の再建と、今後同じ災害に合わない様に対策強化してほしい。 	(31, 29)
17 堤防	<ul style="list-style-type: none"> 被害の甚大部を優先して欲しい。一部各地区の堤防等の整備にも対応してほしい。 内川の築堤のかさ上げ復旧と川床の掘削。雨降るたびに心配しなくとも良い町に願いたい。 	(17, 11)
18 道路・橋	<ul style="list-style-type: none"> 国道349号線の早期復旧。災害に強い道路の整備（緊急車両が通行可能な）。 道路復旧がまず第一だと思う。道路がないのに戻れないし、人を呼ぶこともできないと思う。 	(82, 67)
19 排水	<ul style="list-style-type: none"> 内水での浸水や阿武隈川からの越水や氾濫が起きることがないように、排水機場の新設や堤防のかさ上げ、川底の浚渫工事を早期に実施する。 阿武隈川の増水により、小河川の水が流れなくなり、今回のような状態になるので小河川の復旧はもちろんのこと、内水の排水を考えてもらいたい。 	(25, 8)
20 治山・治水	<ul style="list-style-type: none"> 町中心部（役場周辺）の治水対策を、県営又は国営事業で実施してもらえよう要望してはどうか。 急な山の中に太陽光発電が計画されているようですが、自然を破壊することなくお願いします。我々河川沿線に住んで居る者は安全な治水、治山を望みます。 	(11, 5)
21 災害廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 宅地の災害廃棄物、堆積土砂の早期撤去しないと前進は無理。住宅と仕事場は同じ場所のため、台風から休んでいる。 大耕広場の災害ゴミ、被災した家屋、家財道具毎日のように運び込まれて、いつまで続くのかと思うと不安だし衛生面でも心配。 	(11, 6)

22 公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 阿武急の復活、お願いします。槻木まででも良いので日中の復旧お願いどこにも行けないです。 阿武隈急行の復旧を一日も早くしてください（丸森～福島間）。鉄道ができるまでは富野までのバスを出して欲しいです。 	(15, 19)
23 支援・補助金	<ul style="list-style-type: none"> 義援金による半壊の世帯に支援をしてほしい。浸水1mの壁は高く、半壊には支援金が何も無い。 県内でももっとも手厚い補助の「しあわせ丸森暮らし応援事業」や「みらのたくみ育成」の補助金を継続していただきたい。 	(34, 21)
24 公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 官公庁（役場、病院、消防支所）などの施設の抜本的な見直しが必要では。 丸森町役場を中心とした各地区の公共建築物、一般住宅等が水害にあわないようにしていただきたい。 	(18, 11)
25 住宅	<ul style="list-style-type: none"> 宅地の確保をしてもらえるのは大変いいと思うが今後のことを考えると解体しても宅地の持ち主が住まないのではないか。ますます人口減になるのは間違いないと思う。 今後住む場所、土地の情報・提供を早くしてほしい。 	(11, 11)
26 町づくり	<ul style="list-style-type: none"> 今回の災害でさらなる人口流出が予想される。町全体の強靱化を図るには、早い段階でスマートシティー化に舵を切る必要があると思う。 今後、若い人たちがどういう町にしたいかを重視して、子育てしやすく、他からも転入者が来るような町づくりを期待します。 	(42, 29)
27 高齢者・障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 独居老人世帯の集約化を考えておく必要があると今回のような災害があるとより強く思う。 高齢化もすすみ、高齢者を支える人がいない。交通の便の良い所へ人の移動と町の再構築が優先でないか。災害公営住宅に山間部の一人暮らしの方も暮らせる工夫。 	(25, 17)
28 農地	<ul style="list-style-type: none"> 田（水稻）を作りたいが農道が崩れて作れない。早い田畑の復旧を望みます。 丸森の農地は、このままだと従事者が高齢であり誰も止めてしまう状況。台風の前に提示された大規模化等の事業を同時に進行することが重要だと思う。 	(22, 7)
29 農林業	<ul style="list-style-type: none"> 暖房機などなく花の生育は凍害にあって春の収入が大幅に減収、生活が成り立たない。今必要な農機の早期使用を可能にしてほしい。 農地の被害が大きく個人として復旧はむずかしい年齢（86歳）で、農地、農機具等の被害が大きく、資金などは見通しが立たない。 	(6, 10)
30 移転・移設	<ul style="list-style-type: none"> 町中心機能移管。地球温暖化により今回の台風並みの被害がくり返し来るため。 これから人口減少が進む状況で、全ての公共事業を進めるには予算不足です。過疎地区や災害の大きかった地区は、集団移転し集約化し、災害に遭いにくい町を目指す。 	(17, 11)
31 ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 町としてボランティアを募るなら、ボランティアに仮設トイレやお風呂を提供するようなバックアップがあってもよいと思う。 災害現場に多くのボランティアさんのおいでになったと聞いています。全国からの支援も含め感謝の気持ちを町としてもHPなどでもっと紹介し、まだまだ支援がほしいところについてもアピールして欲しいです。 	(11, 8)
32 被災者	<ul style="list-style-type: none"> 被災者の意見をよく聞いて、ていねいに進めてほしいと思います。できるだけスピード感も重視して欲しいと願います。 今回被災された人達の住宅の復旧、復興を最優先に考え、計画通りの日数で早く復興させてほしい。 	(15, 12)
33 行政	<ul style="list-style-type: none"> 町の百年の針を考え廃町にならぬ様にして欲しい。町政が心配です。無駄なハコ物はいらぬ。夕張市のようなならぬよう復興計画を。 今回の度重なる災害を機に、ただ住んでいるだけではなく地域で安心安全について考えることは勿論だが、将来について今地域がどんな状況で将来このままではどうなるかを語り合う時期と思う。 	(30, 12)

34 役場・職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に役場が冠水して機能しなくなるのはお粗末。役場機能を失わない様にして欲しい。 ・ 罹災に遭った人が書面で提出したもののみで判断して補助を出すのではなく、役場職員が現場に赴いて現状を見て欲しい。書類を提出した人のみ補助を出し、出さなかった人には何もしないでは理不尽。 	(35, 21)
35 仕事・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人がほこりや安心を抱く町にしてほしい。やはり若い世代が定住又は働ける環境を！ ・ 災害で今までの仕事無くなり、今後の生活をどうしたらいいか。それらの事を考えると、復興どころの問題よりも自分たちがどうやって生きるか、それが一番の問題です。 	(13, 4)
36 観光・特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海にも近く、高速でいわき、日立にもつながっていていいところです。あと、阿武隈川の色がきれいな事。是非観光に力を入れて、国外観光者を誘うべきです。 ・ 米の農業依存度から脱却すべき。町民あげての特産物、特に自然災害に影響されにくいものをもっと推進していければと思う。 	(11, 7)
37 人口流出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の商店、施設等が次々となくなりさびれてますます人口が流出していきます 他の町に行かなければならない現状です。結論は働く場がないという事です ・ 人口の減少対策と災害に強い町づくりを望みます。 	(17, 14)
38 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害現場調査する段階で地区住民に立ち会って相談する。 ・ 災害前の状況にもどるのではなく、これを機会により活気のある魅力ある、人が集まる町に積極的に活動してほしいと思います。 	(20, 9)

7. 參考資料

◆意向調査票

(1) 世帯を代表する方用

《世帯を代表する方用》

問1. 台風第19号(以下「台風」といいます。)の被害を受ける前までの、あなた自身ならびに世帯の状況についてお聞きします。

ア)性別	1. 男性	2. 女性						
イ)年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代以上
ウ)世帯構成	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみの世帯	3. 親と子どもの世帯	4. 三世代(親,子,孫)同居世帯	5. その他(具体的に:)			
エ)世帯の人数 (あなたを含めた人数)	全員で()人 そのうち、65歳以上の人数()人 乳幼児(小学校就学前)の人数()人 障がいのある方の人数()人							
オ)あなたの職業	1. 正規職員・従業員	2. 契約・派遣社員	3. パート・アルバイト	4. 自営業主(農林業含む)	5. 会社役員・経営者	6. 無職(学生含む)	7. その他()	

問2. このたびの台風に伴う避難についてお聞きします。

問2-1. あなたはどのように対応しましたか。(1つに○をつけてください)

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1. 事前に避難を開始した(日時: 月 日 時 分頃) | } →問3へ |
| 2. 危険を感じてから避難した(日時: 月 日 時 分頃) | |
| 3. 避難したかったができなかった(理由:) | |
| 4. 避難しなかった(理由:) | |
| 5. その他() | |

上記問2-1. で「1.」「2.」を選んだ方にお聞きします。

問2-2. 避難を判断した情報はどこから入手しましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|-----------------|-------------------------|---------------------|
| 1. テレビ、ラジオ | 2. 防災無線(屋外放送) | 3. インターネット情報(SNS含む) |
| 4. まるもり安心・安全メール | 5. エリアメール(携帯各社の緊急速報メール) | |
| 6. 家族や近所等の人の声掛け | 7. その他() | |

問2-3. どこに、どうやって避難しましたか。(1つずつ○をつけてください)

■どこに(町内・町外も選択してください。)

■どうやって

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 町指定の避難所(以下「避難所」といいます。)
もしくは町内のその他施設
(具体的な避難所・施設名称:) | 1. 徒歩 |
| 2. 親類や知人宅(町内・町外) | 2. 自転車・バイク |
| 3. その他((町内・町外)) | 3. 自家用車(家族、知人のもの含む) |
| | 4. タクシー |
| | 5. その他() |

問2-4. 避難に関して課題と感じたことはどれですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | |
|---|
| 1. 避難するための情報が入手しづらかった |
| 2. 避難所の場所を知らなかった |
| 3. 避難所までの移動が困難だった(例 冠水、落石、遠距離など) |
| 4. 避難所の備蓄や運営体制が不十分だった |
| 5. 避難所での乳幼児や女性に対する支援が不十分だった |
| 6. 避難所での避難行動要支援者(高齢者、障がいのある方等)への支援が不十分だった |
| 7. その他() |

問3. お住まいの状況についてお聞きします。

問3-1. 台風以前のお住まいの地区はどこですか。(1つに○をつけてください)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 丸森 | 2. 金山 | 3. 筆甫 |
| 4. 大内 | 5. 小斎 | 6. 館矢間 |
| 7. 大張 | 8. 耕野 | |

その行政区をお書きください



問3-2. 現在のお住まいの状況を教えてください。(1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------------------------------|------------------|-----------|
| 1. 台風以前と同じ住まい | | |
| 2. 台風以後は別の住まい(地区名又は他市町村名: _____) | | |
| 上記「2.」を選択した方は下記の中から1つに○をつけてください。 | | |
| 1. 仮設住宅 | 2. みなし仮設住宅 | 3. 民間賃貸住宅 |
| 4. 親類や知人宅 | 5. その他 (_____) | |

問3-3. お住まいの台風の被害状況を教えてください。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

■被害の種類

- | |
|--------------------------|
| 1. 土砂 |
| 2. 浸水(床上 約 _____ m・床下) |
| 3. 特に被害はなかった →問5へ |

■被害の規模(り災証明で判定された規模)

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 全壊 | 2. 大規模半壊 |
| 3. 半壊 | 4. 一部損壊 |
| 5. その他 (_____) | |

問3-4. これからの住まいについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

(1つに○をつけてください)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 建替え、移転などの再建を予定している →問4へ |
| 2. 台風以前からの住まいの修繕等を行い住み続ける →問4-4へ |
| 3. その他 (_____) →問4へ |

問4. お住まいの再建について、現時点でのあなたの考えに近いものをお答えください。

問4-1. お住いの再建をどのように進めたいと考えていますか。

(1つに○をつけてください)

- | |
|--|
| 1. 台風以前から住んでいる同じ場所で建て替えたい |
| 2. 台風以前に住んでいた場所以外の <u>地区内</u> で、 <u>個人</u> で再建したい |
| 3. 台風以前に住んでいた場所以外の <u>地区内</u> で、 <u>集団</u> で再建したい |
| 4. 台風以前に住んでいた <u>地区外(丸森町内)</u> で、 <u>個人</u> で再建したい
(具体的な場所: _____) |
| 5. 台風以前に住んでいた <u>地区外(丸森町内)</u> で、 <u>集団</u> で再建したい
(具体的な場所: _____) |
| 6. 丸森町内の公営住宅に住みたい |
| 7. 丸森町内の民間住宅・アパートを賃貸し、住みたい |
| 8. 丸森町外に住みたい(住宅再建・賃貸) |
| 9. わからない |
| 10. その他(具体的に: _____) |

問4-2. いつまでにお住まいを再建したいとお考えですか。(1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 1年以内 | 2. 2年以内 | 3. 5年以内 |
| 4. 10年以内 | 5. その他 () | |

問4-3. お住まいの再建場所を決めるうえで、重視する条件は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 教育環境 |
| 3. 買い物や医療等の生活環境 | 4. 公共施設 (役場やまちづくりセンター等) |
| 5. 鉄道やバス等の公共交通 | 6. 町内会や近所付き合いの良さ |
| 7. 防災・防犯面での安全・安心 | 8. わからない |
| 9. その他 () | |

問4-4. これからお住まいを再建するにあたり、課題や不安に感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | |
|--|
| 1. 特に課題や不安はない (資金や土地・住居確保の見通しが立っているなど) |
| 2. 再建のための資金に不安があること |
| 3. 住宅ローンが残っていること |
| 4. 再建を予定する土地が確保できるかわからないこと |
| 5. 予定する土地が災害時に安全に住めるかわからないこと |
| 6. 予定する期間内に住宅の建築業者が見つかるか不安があること |
| 7. 新しい居住地の環境になじめるか不安があること |
| 8. 所有している農地等から離れてしまうこと |
| 9. 今まで居住してきた住宅・土地の処分や管理に関すること |
| 10. その他 (具体的に:) |

問5. あなたが復旧・復興において重要と考えている取り組みについてお聞きします。

丸森町復旧・復興基本方針には、下記(1)～(3)の「復興のポイント」があります。

「復興のポイント」ごとに重要と思うものはどれですか。それぞれ3つまで番号を記入のうえ、それらについてご提案、ご意見などがありましたら記入欄にお書きください。

(1) 安らぎのある暮らしの再建

- | | |
|------------------|----------------------|
| ①被災者の生活環境の確保 | ②安心して暮らすことのできる住まいの再建 |
| ③地域コミュニティの再構築 | ④保健・医療・福祉の充実 |
| ⑤被災者及び児童の心と身体のケア | ⑥被災した学校教育施設などの復旧 |
| ⑦公共交通機関の早期復旧 | ⑧生涯学習・文化・スポーツ活動の充実 |
| ⑨災害廃棄物・堆積土砂の早期撤去 | ⑩その他 |



番号 (①～⑩)	関連するご提案、ご意見等 (例: 〇〇について、〇〇を優先すべきと思う。)

(2) 災害に強く魅力あふれるまちの創造

- ①防災体制の強化
- ②自助・共助を育む防災教育と人材の育成
- ③上下水道などのライフライン復旧
- ④道路・橋梁等の復旧・機能強化
- ⑤河川の復旧・被害を繰り返さないための治水
- ⑥内水氾濫を防ぐための対策強化
- ⑦治山による安全・安心の確保
- ⑧その他



番号 (①~⑧)	関連するご提案、ご意見等 (例: ○○について、○○を優先すべきと思う。)

(3) 活気あふれる産業・なりわいの再建

- ①魅力ある農業・林業の再建
- ②活気あふれる商工業の再建
- ③国内外からの観光客の誘致
- ④雇用の維持・創出
- ⑤新たな産業の創出
- ⑥その他



番号 (①~⑥)	関連するご提案、ご意見等 (例: ○○について、○○を優先すべきと思う。)

問6. 今回の災害からの復旧・復興について、あなたが期待すること、望むことなどがあれば、お書きください。

--

差し支えなければ、お名前とご連絡先をお書きください。

お名前		ご連絡先	
-----	--	------	--

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

(2) 世帯員の方用

《世帯員の方用》

問1 あなた自身についてお聞きします。

ア)性別	1. 男性	2. 女性		
イ)年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代以上

問2. このたびの台風に伴う避難についてお聞きします。

問2-1. あなたはどのように対応しましたか。(1つに○をつけてください)

1. 事前に避難を開始した (日時: 月 日 時 分頃)) } 問3へ)
2. 危険を感じてから避難した (日時: 月 日 時 分頃)	
3. 避難したかったができなかった (理由:)	
4. 避難しなかった (理由:)	
5. その他 ()	

上記問2-1. で「1.」「2.」を選んだ方にお聞きします。

問2-2. 避難を判断した情報はどこから入手しましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. テレビ、ラジオ	2. 防災無線 (屋外放送)	3. インターネット情報 (SNS含む)
4. まるもり安心・安全メール	5. エリアメール (携帯各社の緊急速報メール)	
6. 家族や近所等の人の声掛け	7. その他 ()	

問2-3. どこに、どうやって避難しましたか。(1つずつ○をつけてください)

■どこに (町内・町外も選択してください。)

1. 町指定の避難所 (以下「避難所」といいます。) もしくは町内のその他施設 (具体的な避難所・施設名称:)
2. 親類や知人宅 (町内・町外)
3. その他 ((町内・町外))

■どうやって

1. 徒歩
2. 自転車・バイク
3. 自家用車 (家族、知人のもの含む)
4. タクシー
5. その他 ()

問2-4. 避難に関して課題と感じたことはどれですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 避難するための情報が入手しづらかった
2. 避難所の場所を知らなかった
3. 避難所までの移動が困難だった (例 冠水、落石、遠距離など)
4. 避難所の備蓄や運営体制が不十分だった
5. 避難所での乳幼児や女性に対する支援が不十分だった
6. 避難所での避難行動要支援者 (高齢者、障がいのある方等) への支援が不十分だった
7. その他 ()

問3. あなたが復旧・復興において重要と考えている取り組みについてお聞きします。

丸森町復旧・復興基本方針には、下記(1)～(3)の「復興のポイント」があります。

「復興のポイント」ごとに重要と思うものはどれですか。それぞれ3つまで番号を記入のうえ、それらについてご提案、ご意見などがありましたら記入欄にお書きください。

(1) 安らぎのある暮らしの再建

- | | |
|------------------|----------------------|
| ①被災者の生活環境の確保 | ②安心して暮らすことのできる住まいの再建 |
| ③地域コミュニティの再構築 | ④保健・医療・福祉の充実 |
| ⑤被災者及び児童の心と身体のケア | ⑥被災した学校教育施設などの復旧 |
| ⑦公共交通機関の早期復旧 | ⑧生涯学習・文化・スポーツ活動の充実 |
| ⑨災害廃棄物・堆積土砂の早期撤去 | ⑩その他 |

↳【裏面に続きます】

番号 (①～⑩)	関連するご提案、ご意見等(例：〇〇について、〇〇を優先すべきと思う。)

(2) 災害に強く魅力あふれるまちの創造

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ①防災体制の強化 | ②自助・共助を育む防災教育と人材の育成 |
| ③上下水道などのライフライン復旧 | ④道路・橋梁等の復旧・機能強化 |
| ⑤河川の復旧・被害を繰り返さないための治水 | ⑥内水氾濫を防ぐための対策強化 |
| ⑦治山による安全・安心の確保 | ⑧その他 |



番号 (①～⑧)	関連するご提案、ご意見等(例：〇〇について、〇〇を優先すべきと思う。)

(3) 活気あふれる産業・なりわいの再建

- | | |
|---------------|---------------|
| ①魅力ある農業・林業の再建 | ②活気あふれる商工業の再建 |
| ③国内外からの観光客の誘致 | ④雇用の維持・創出 |
| ⑤新たな産業の創出 | ⑥その他 |



番号 (①～⑥)	関連するご提案、ご意見等(例：〇〇について、〇〇を優先すべきと思う。)

問6. 今回の災害からの復旧・復興について、あなたが期待すること、望むことなどがあれば、お書きください。

差し支えなければ、お名前とご連絡先をお書きください。

お名前		ご連絡先	
-----	--	------	--

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。